

第51回  
市政世論調査  
(概要版)



令和元年

府中市

## < 目 次 >

府中市市政世論調査について	1
回答者の概要	2
【住み心地】について	3
■府中市は住みよいところだと感じるか	3
【住まいの環境】について	4
■身近な住まいの環境についての率直な感想	4
【生活の満足度】について	5
■現在の生活にどの程度満足しているか	5
【定住意向】について	6
■今後も府中市に住み続けたいと思うか	6
【市政に関する関心度】について	7
■市政にどの程度関心を持っているか	7
【市への要望】について	8
■府中市に対しこれから特に力を入れてほしいこと	8
【市民協働の推進】について	10
■「協働」という言葉を知っているか	10
■「協働」について興味があるか	10
■協働によるまちづくりを進めるために市が力を入れるべきこと	11
【市民活動】について	12
■「市民活動」という言葉をどの程度知っているか	12
■「市民活動」は社会にとって必要か	12
■「市民活動」に取組んだことがあるか	13
■どのような分野の「市民活動」が増えると良いと思うか	15
【働き方改革の推進に対する取組】について	16
■仕事と仕事以外の時間の割合の現状と理想	16
■働き方改革の推進に対する市が力を入れるべき取組	17
【環境問題に対する取組】について	18
■環境に関する取組	18
【生物多様性地域戦略】について	19
■「生物多様性」という言葉を知っているか	19
■生物多様性保全活動に参加したいか	19
■生物多様性の保全に向けて、行政に期待すること	20

【にぎわいのあるまちづくり】について	20
■府中駅周辺施設の利用頻度	20
■府中駅周辺施設の利用目的	21
■府中市近隣の主要駅周辺施設の利用頻度	21
■府中市近隣の主要駅周辺施設の利用目的	22
【郷土の森博物館】について	22
■郷土の森博物館に来館したことがあるか	22
■博物館に求める役割は何か	23
■博物館（プラネタリウムを除く）の今後の運営について期待すること	23
■プラネタリウムの今後の運営について期待すること	24
【スポーツ・運動】について	24
■スポーツ活動全般についてどう思うか	24
■この1年間にスポーツや運動を行ったか	25
■今後行ってみたいスポーツや運動	27
■府中市を拠点に活動するトップチームの認知度	27
■この1年間で観戦したトップチーム	28
【インフラマネジメント】について	29
■市のインフラの維持管理に対する現状や課題についての関心度	29
■「府中市インフラマネジメント計画（2018年度）」を知っているか	29
■「府中市インフラマネジメント計画（2018年度）」で 示している施策をどう思うか	30

# 府中市市政世論調査について

府中市で、毎年実施してまいりました世論調査も、今回で第 5 1 回となります。

この世論調査は、市政に対するご意見・ご要望をお聞きし、諸施策に対する市民の皆様の考えを把握することによって、今後の市政運営上の参考にさせていただくことを目的としております。

今回は市政全般のほか、「市民協働の推進」「市民活動」「働き方改革の推進に対する取組」「環境問題に対する取組」「生物多様性地域戦略」「にぎわいのあるまちづくり」「郷土の森博物館」「スポーツ・運動」「インフラマネジメント」についてお聞きしました。

本書は、調査結果の一部をまとめた概要版です。

ご協力いただきました市民の皆様に、心からお礼を申しあげます。

## 調査の方法

調査の地域	: 府中市全域
調査対象者	: 府中市在住の満 18 歳以上の男女
調査数	: 1,500 人
抽出方法	: 地点を用いた二段抽出法 (住民基本台帳の登録人口を 11 の地区に分け、その構成比により無作為に抽出する方法)
調査方法	: 郵送法 (郵送配布、郵送回収)
調査期間	: 令和元年 5 月 13 日 (月) ~ 令和元年 7 月 12 日 (金)
回収数(率)	: 992 (66.1%)

## 調査の内容

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. 住み心地      | 10. 環境問題に対する取組   |
| 2. 住まいの環境    | 11. 生物多様性地域戦略    |
| 3. 生活の満足度    | 12. にぎわいのあるまちづくり |
| 4. 定住意向      | 13. 郷土の森博物館      |
| 5. 市政に関する関心度 | 14. スポーツ・運動      |
| 6. 市への要望     | 15. インフラマネジメント   |

〈第 5 1 回特設設問〉

7. 市民協働の推進
8. 市民活動
9. 働き方改革の推進に対する取組

**注意事項** 本書をご覧になる場合、次の点に注意してください。

- (1) 百分率(%)の計算は、小数点第 2 位を四捨五入して表示しています。このため、単数回答(1 つだけ選ぶ設問)に表示された百分率を足し合わせても 100%にならない場合があります。また、複数回答(2 つ以上選んでよい設問)の設問の場合、百分率を足し合わせると 100%を超える場合があります。
- (2) 図、表に表示された「n」は、各設問に対する回答者数を表します。

## 回答者の概要

回答数 992 件の属性別回答者数と構成比を表します。

### 〔性別〕

	回答者数(人)	構成比(%)
男性	429	43.2
女性	490	49.4
回答しない (無回答)	21 52	2.1 5.2

### 〔職業〕

	回答者数(人)	構成比(%)
事務職	126	12.7
専門・技術職	190	19.2
労務・サービス職	71	7.2
役員・管理職	57	5.7
商・工・サービス業	35	3.5
自由業	35	3.5
農林漁業	2	0.2
内職・パート・フリーター	149	15.0
主婦(家事専業)	159	16.0
学生	36	3.6
無職	102	10.3
(無回答)	30	3.0

### 〔未婚・既婚〕

	回答者数(人)	構成比(%)
未婚	225	22.7
既婚(離別・死別含む)	717	72.3
(無回答)	50	5.0

### 〔ライフステージ〕

	回答者数(人)	構成比(%)
独身期	139	14.0
家族形成期	102	10.3
家族成長前期	115	11.6
家族成長後期・家族成熟期	153	15.4
高齢期	102	10.3
高齢者世帯	151	15.2
その他	171	17.2
(無回答)	59	5.9

### 〔年齢〕

	回答者数(人)	構成比(%)
18～29歳	109	11.0
30～39歳	140	14.1
40～49歳	222	22.4
50～59歳	195	19.7
60～69歳	144	14.5
70歳以上	166	16.7
(無回答)	16	1.6

### 〔地区〕

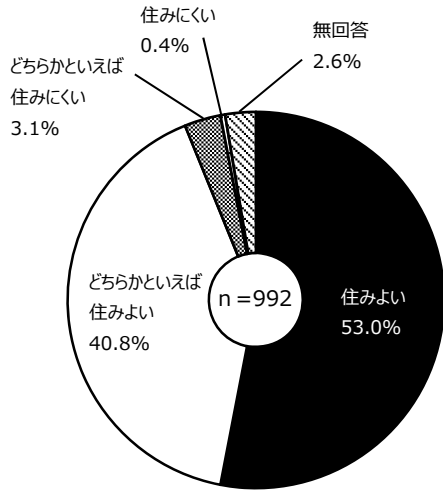
	総人口(人)	対象者数(人)	調査数(人)	回答率(%)	回答者数(人)	構成比(%)
紅葉丘文化センター	22,773	18,909	122	70.5	86	8.7
白糸台文化センター	28,900	24,448	170	62.4	106	10.7
押立文化センター	9,846	8,351	59	76.3	45	4.5
是政文化センター	24,980	20,802	144	61.1	88	8.9
住吉文化センター	26,733	22,223	159	72.3	115	11.6
片町文化センター	30,497	26,084	180	67.2	121	12.2
中央文化センター	41,814	35,392	241	64.7	156	15.7
新町文化センター	26,356	22,368	155	57.4	89	9.0
武蔵台文化センター	14,641	12,523	81	69.1	56	5.6
西府文化センター	18,881	15,357	107	68.2	73	7.4
四谷文化センター	14,152	11,328	82	69.5	57	5.7
総計	259,573	217,785	1,500	66.1	992	100.0

上記対象者数は、平成31年4月1日現在の満18歳以上の人口である。

## 【住み心地】について

### ■ 府中市は住みよいところだと感じるか (n=992)

「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせると、9割半ばが『府中市は住みよい』と感じている。



「住みよい」(53.0%)と「どちらかといえば住みよい」(40.8%)を合わせた『住みよいと感じる』割合は、9割半ば(93.8%)にのぼる。

また、「住みにくい」(0.4%)と「どちらかといえば住みにくい」(3.1%)を合わせた『住みにくいとを感じる』割合は3.5%である。

図1 住み心地

「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた『住みよいと感じる』割合は、年代別では、「40～49歳」(96.0%)が最も高く、「70歳以上」(92.2%)が最も低い。

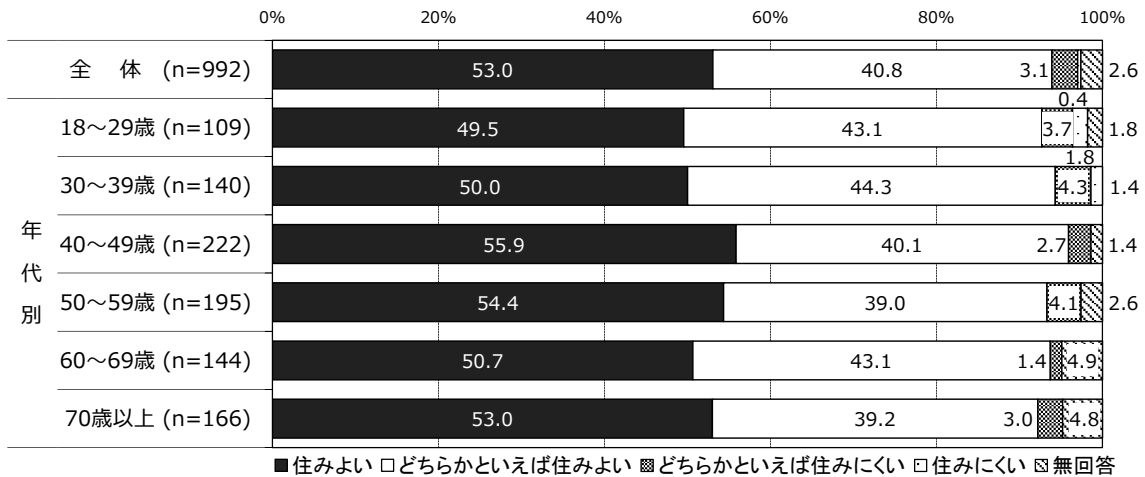


図2 住み心地(年代別)

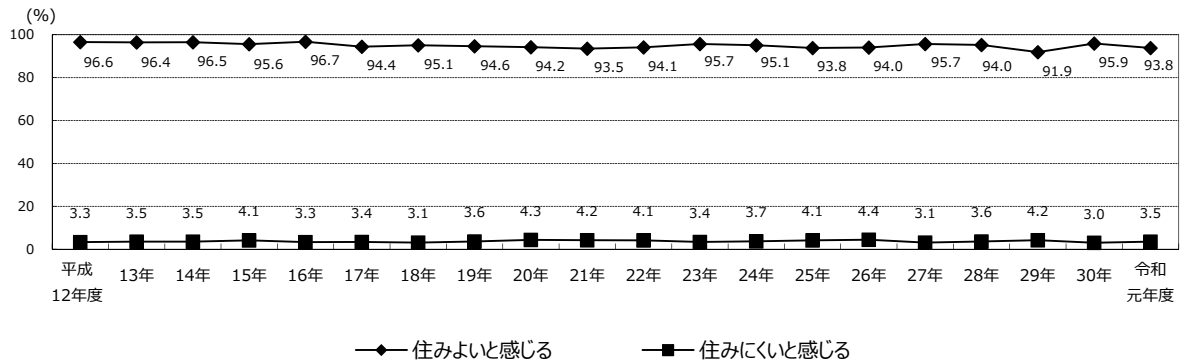


図3 住み心地(年度別)

## 【住まいの環境】について

### ■ 身近な住まいの環境についての感想 (n=992)

「非常によい」と「まあよい」を合わせた『よいと感じる住まいの環境』は、「緑の豊かさ」、「排水の便」、「日常の買い物の便」の順になっている。「あまりよくない」と「非常に悪い」を合わせた『よくないと感じる住まいの環境』は、「蚊やハエの発生の防止」、「騒音や振動の防止」、「交通安全対策」の順になっている。

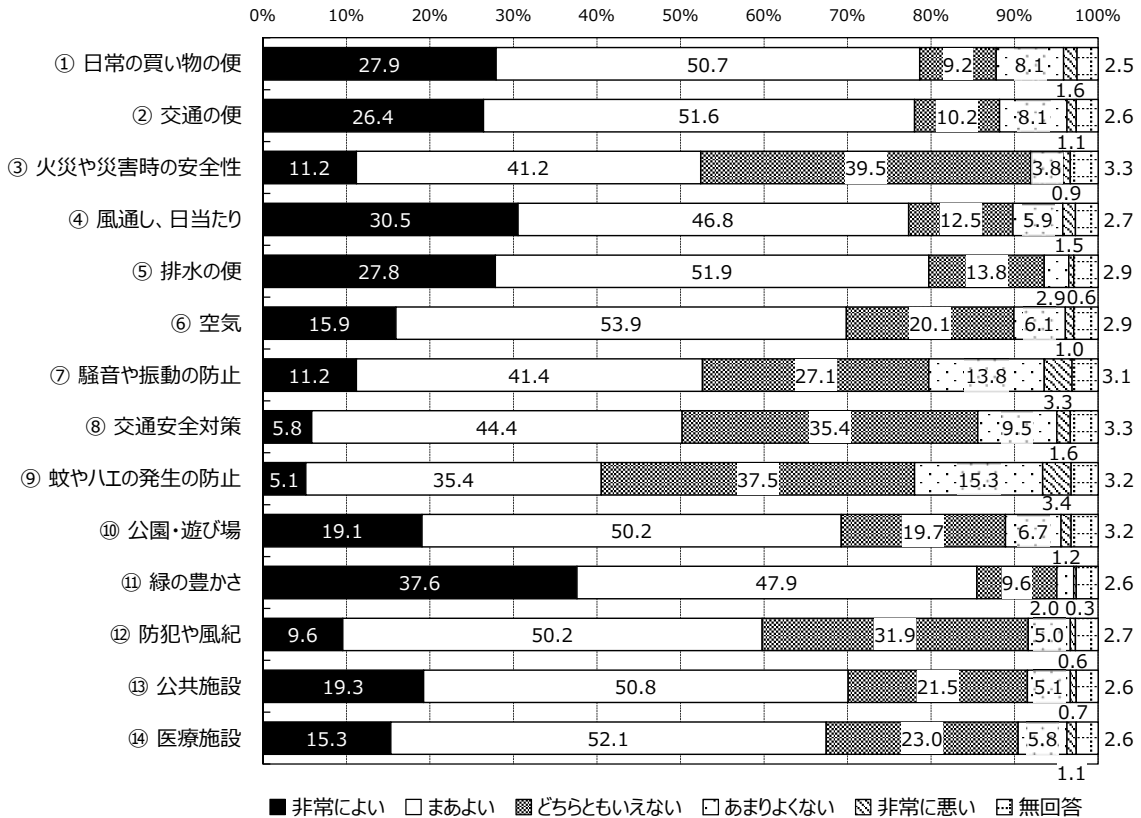


図 4 身近な住まいの環境についての感想

順位	住まいの環境	非常によい または まあよい (%)
1位	⑪ 緑の豊かさ	85.5
2位	⑤ 排水の便	79.7
3位	① 日常の買い物の便	78.6
4位	② 交通の便	78.0
5位	④ 風通し、日当たり	77.3
6位	⑬ 公共施設	70.1
7位	⑥ 空気	69.8
8位	⑩ 公園・遊び場	69.3
9位	⑭ 医療施設	67.4
10位	⑫ 防犯や風紀	59.8
11位	⑦ 騒音や振動の防止	52.6
12位	③ 火災や災害時の安全性	52.4
13位	⑧ 交通安全対策	50.2
14位	⑨ 蚊やハエの発生の防止	40.5

表 1 『よい』と感じる割合の順

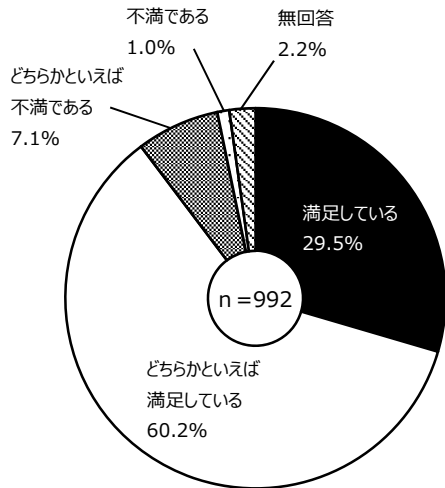
順位	住まいの環境	あまりよくない または 非常に悪い (%)
1位	⑨ 蚊やハエの発生の防止	18.7
2位	⑦ 騒音や振動の防止	17.1
3位	⑧ 交通安全対策	11.1
4位	① 日常の買い物の便	9.7
5位	② 交通の便	9.2
6位	⑩ 公園・遊び場	7.9
7位	④ 風通し、日当たり	7.4
8位	⑥ 空気	7.1
9位	⑭ 医療施設	6.9
10位	⑬ 公共施設	5.8
11位	⑫ 防犯や風紀	5.6
12位	③ 火災や災害時の安全性	4.7
13位	⑤ 排水の便	3.5
14位	⑪ 緑の豊かさ	2.3

表 2 『よくない』と感じる割合の順

## 【生活の満足度】について

### ■ 現在の生活にどの程度満足しているか (n=992)

「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると、9割近くが『生活に満足している』と感じている。



「満足している」(29.5%)と「どちらかといえば満足している」(60.2%)を合わせた『生活に満足していると感じる』割合は、9割近くを占める(89.7%)。

また、「不満である」(1.0%)と「どちらかといえば不満である」(7.1%)を合わせた『生活に不満を感じる』割合は、1割に満たない(8.1%)。

図5 生活の満足度

年代別では、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『生活に満足していると感じる』割合は、「18～29歳以上」(90.9%)が最も高く、「30～39歳」(87.9%)が最も低い。

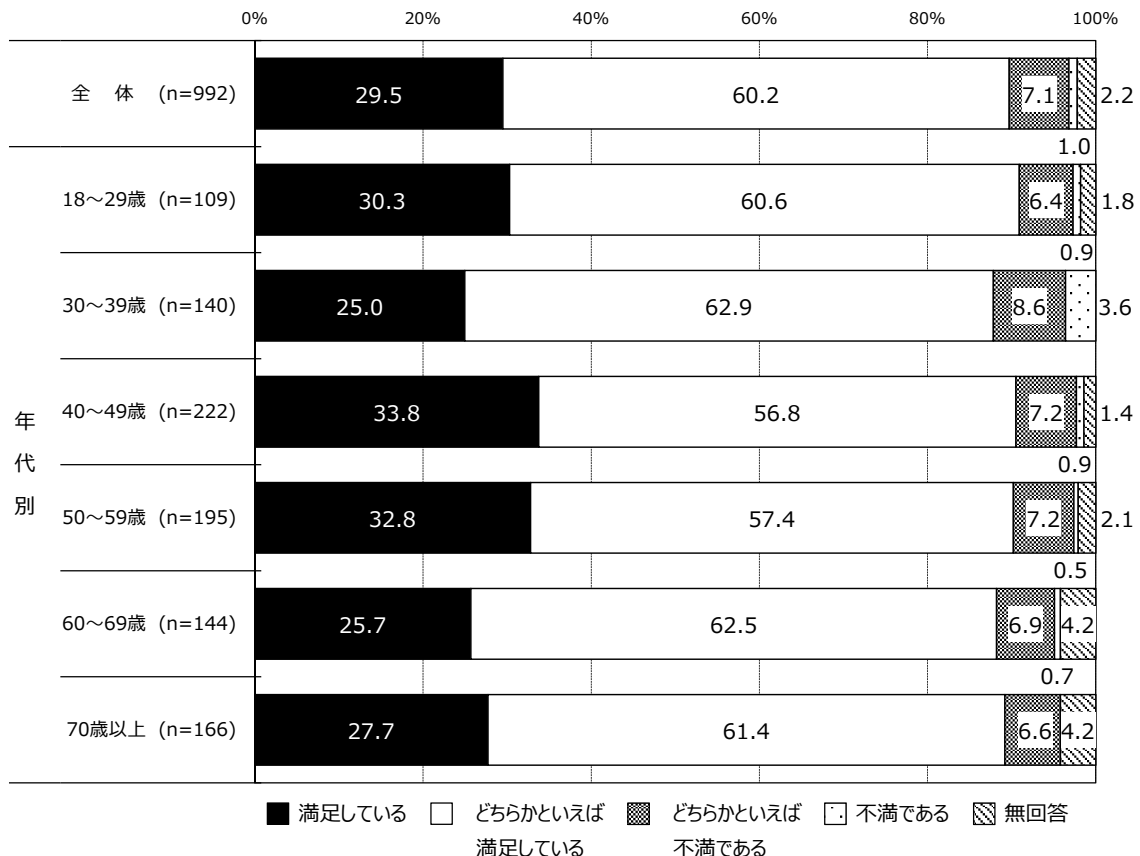


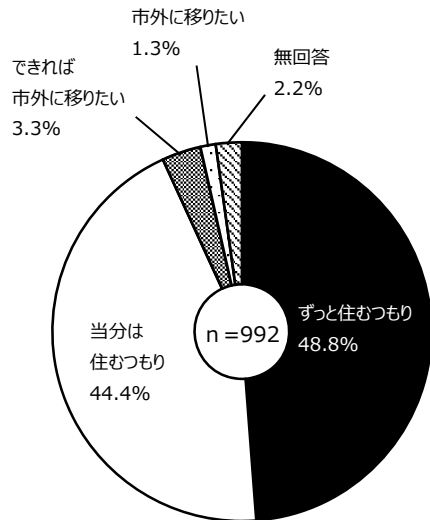
図6 生活の満足度 (年代別)



## 【定住意向】について

### ■ 今後も府中市に住み続けたいと思うか (n=992)

「ずっと住むつもり」と「当分は住むつもり」を合わせると、9割以上が『今後も府中市に住み続けたい』と感じている。



「ずっと住むつもり」(48.8%)と「当分は住むつもり」(44.4%)を合わせた『住み続けたいと感じている』割合は、9割を超える(93.2%)。

また、「市外に移りたい」(1.3%)と「できれば市外に移りたい」(3.3%)を合わせた『市外に移りたいと感じている』割合は、4.6%である。

図7 定住意向

年代別では、「ずっと住むつもり」と「当分は住むつもり」を合わせた『住み続けたいと感じている』割合は、「50～59歳」(96.9%)が最も高く、「18～29歳」(85.3%)が最も低い。

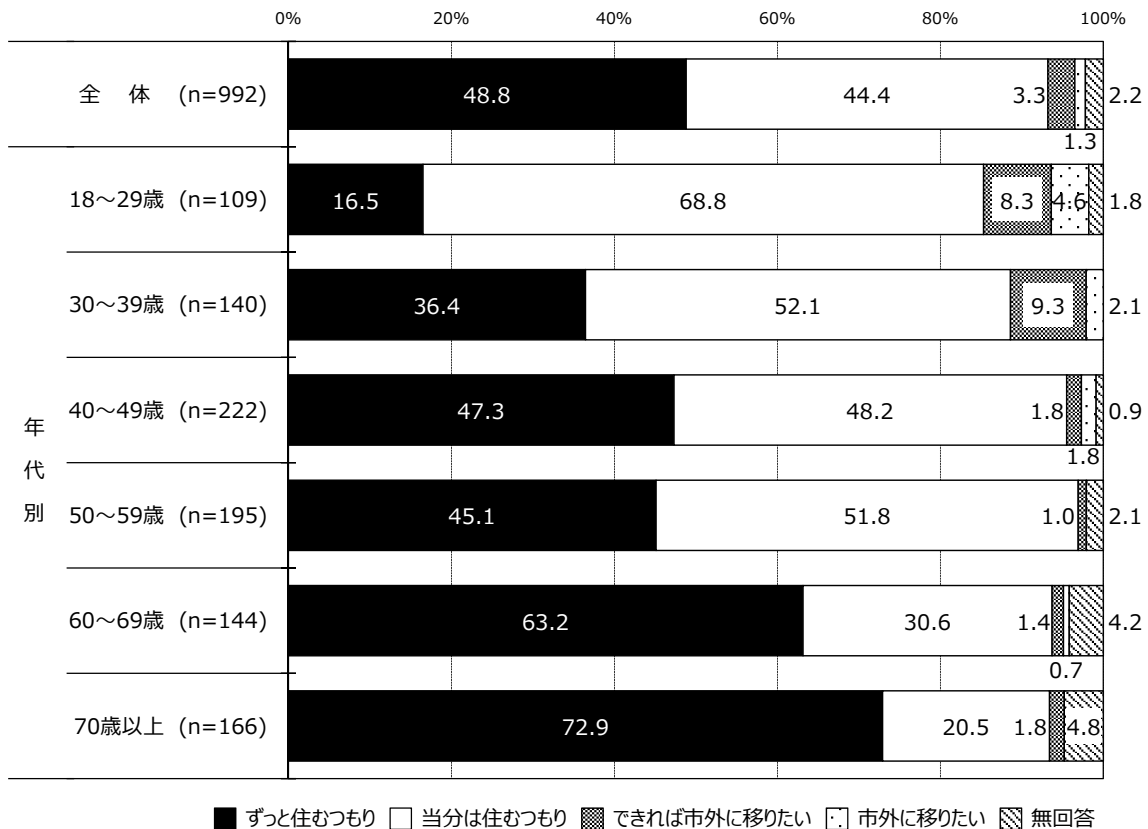
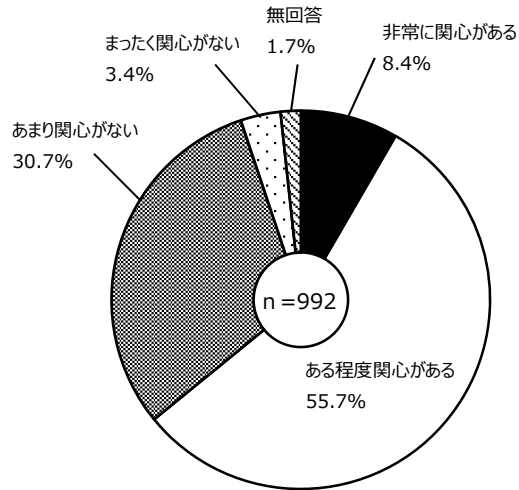


図8 定住意向 (年代別)

## 【市政に関する関心度】について

### ■ 市政にどの程度関心を持っているか (n=992)

「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせると、6割半ばが市政に関心を持っている。



「非常に関心がある」(8.4%)と「ある程度関心がある」(55.7%)を合わせた『市政に関心がある』割合は 64.1%で、6割半ばが市政に関心を持っている。

一方、『市政に関心がない』割合は、「まったく関心がない」(3.4%)と「あまり関心がない」(30.7%)を合わせた 34.1%である。

図 9 市政に関する関心度

年代別では、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『市政に関心がある』割合は、「70歳以上」(82.0%)が最も高く、「18～29歳」(37.7%)が最も低い。

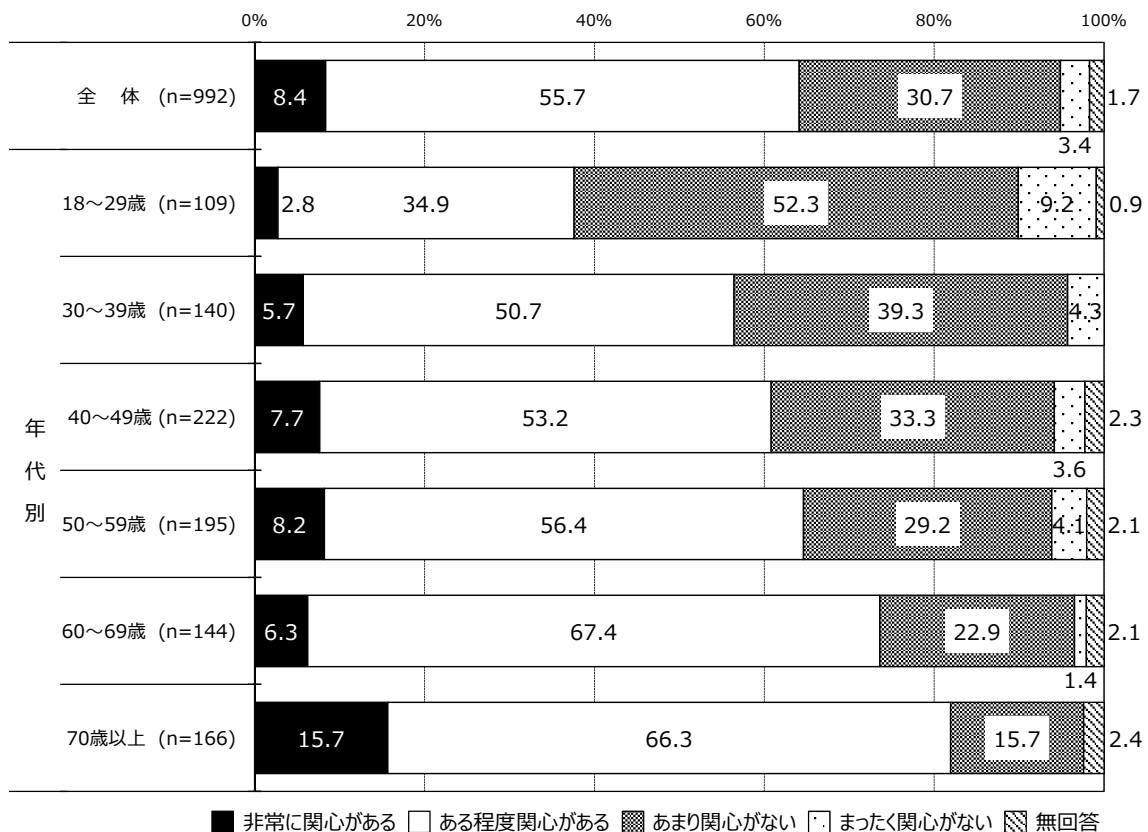


図 10 市政に関する関心度(年代別)

## 【市への要望】について

■ 府中市に対しこれから特に力を入れてほしいこと (n=992 : 複数回答)

「高齢者福祉対策」(36.4%)、「防犯・風紀対策」(25.0%)、「道路の整備」(17.6%)、「交通安全対策」(17.1%)の順で高い。

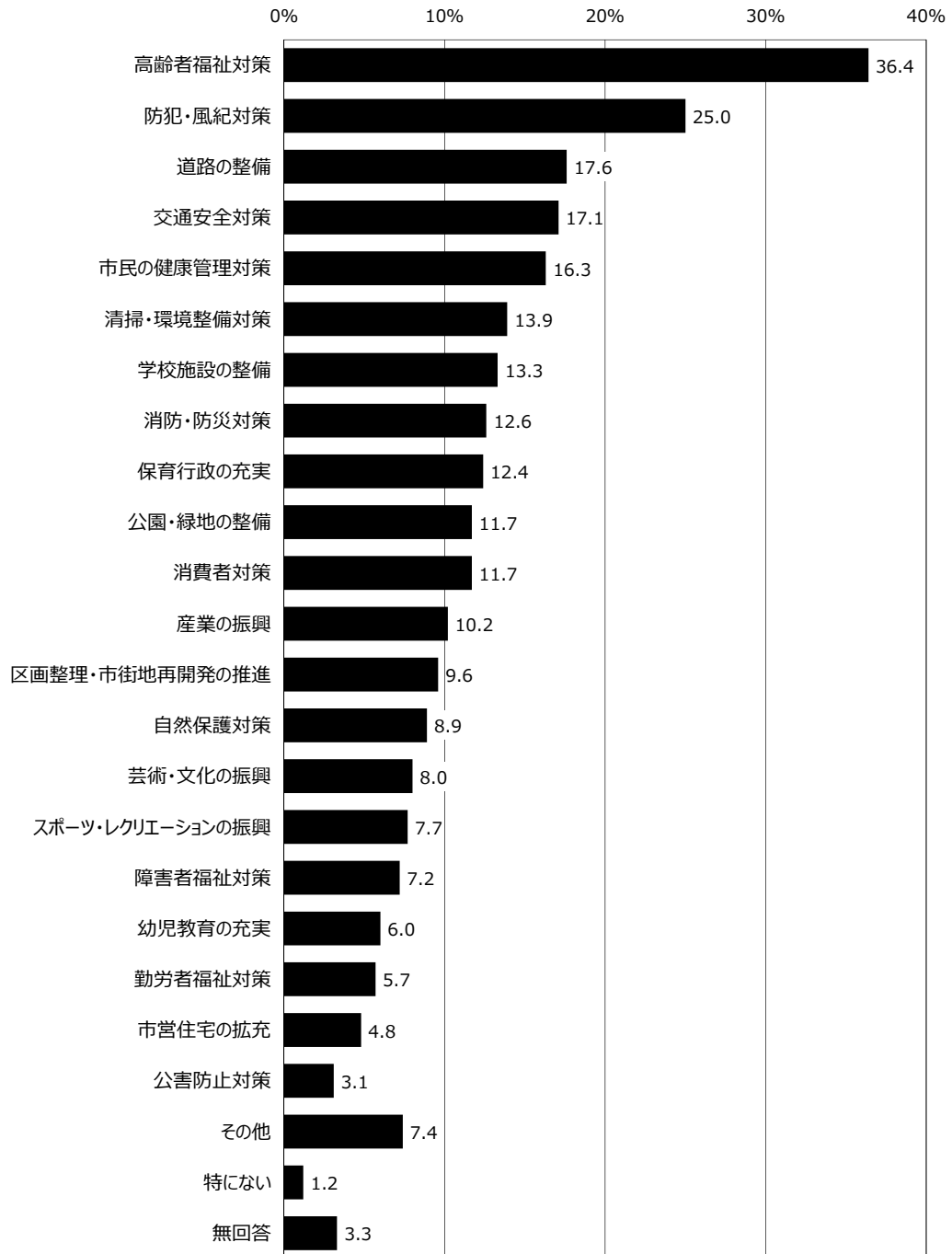


図 11 市への要望

上位5項目について平成22年度からの順位変動を見ると、今年度1位の「高齢者福祉対策」は、常に1位となっている。2位の「防犯・風紀対策」は、常に上位3位に入っており、3位の「道路の整備」は27年度より上位5位に入っており今年度が最も高い順位となっている。4位の「交通安全対策」は上位5位に入るのは24年度以来である。5位の「市民の健康管理対策」は毎年上位5位に入っている。

	n	1位	2位	3位	4位	5位
令和元年	992	高齢者福祉対策 36.4%	防犯・風紀対策 25.0%	道路の整備 17.6%	交通安全対策 17.1%	市民の健康管理対策 16.3%
平成30年	1021	高齢者福祉対策 35.5%	防犯・風紀対策 26.9%	市民の健康管理対策 17.8%	学校施設の整備 15.3%	道路の整備/ 清掃・環境整備対策 15.1%
29年	1103	高齢者福祉対策 35.3%	防犯・風紀対策 24.2%	市民の健康管理対策 17.4%	道路の整備 17.0%	保育行政の充実 15.4%
28年	996	高齢者福祉対策 34.8%	防犯・風紀対策 22.5%	市民の健康管理対策 19.7%	保育行政の充実 18.6%	道路の整備 16.0%
27年	824	高齢者福祉対策 35.2%	防犯・風紀対策 23.7%	市民の健康管理対策 18.4%	清掃・環境整備対策 15.7%	道路の整備/ 保育行政の充実 14.3%
26年	844	高齢者福祉対策 41.6%	防犯・風紀対策 29.1%	市民の健康管理対策 18.5%	清掃・環境整備対策 16.1%	保育行政の充実 14.3%
25年	836	高齢者福祉対策 38.2%	防犯・風紀対策 24.5%	清掃・環境整備対策 18.7%	市民の健康管理対策 17.5%	消防・防災対策 14.2%
24年	846	高齢者福祉対策 35.6%	防犯・風紀対策 28.1%	市民の健康管理対策 17.8%	交通安全対策 17.3%	消防・防災対策 15.2%
23年	835	高齢者福祉対策 34.4%	防犯・風紀対策 26.7%	清掃・環境整備対策 18.1%	市民の健康管理対策 17.0%	消防・防災対策 16.4%
22年	889	高齢者福祉対策 43.5%	市民の健康管理対策 27.0%	防犯・風紀対策 21.9%	清掃・環境整備対策 19.6%	自然保護対策/ 消費者対策 15.7%

表3 経年推移(上位5位)

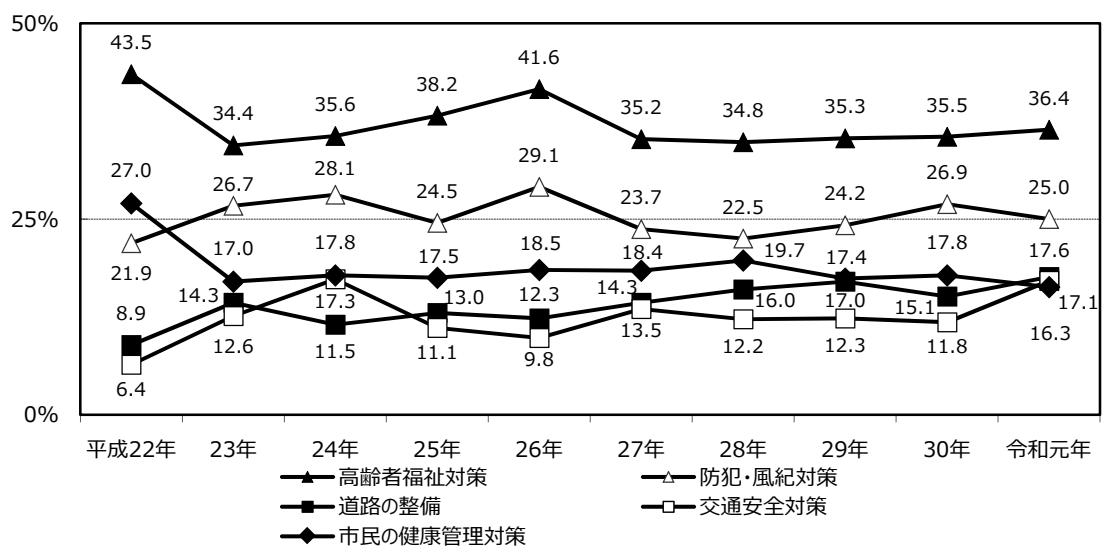


図12 経年推移(上位5位)

## 【市民協働の推進】について

### ■「協働」という言葉を知っているか（n=992）

「言葉も意味も知らない」（41.4%）が最も高く、4割を超えている。続いて、「聞いたことはあるが内容までは知らなかった」（34.4%）、「言葉も意味も知っている」（21.8%）となっている。

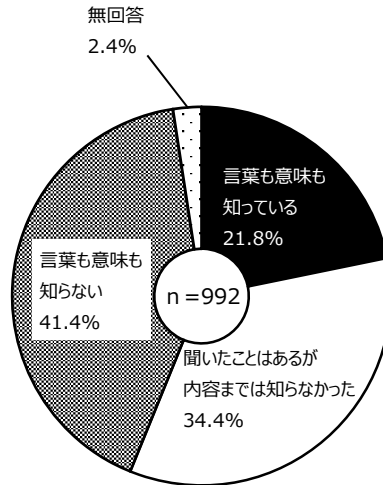


図 13 「協働」という言葉を知っているか

### ■「協働」について興味があるか（n=992）

「少し興味がある」(42.2%)が最も高く、続いて、「あまり興味がない」（28.9%）、「わからない」（10.7%）、「興味があるので、いろいろ知りたい」（8.3%）となっている。

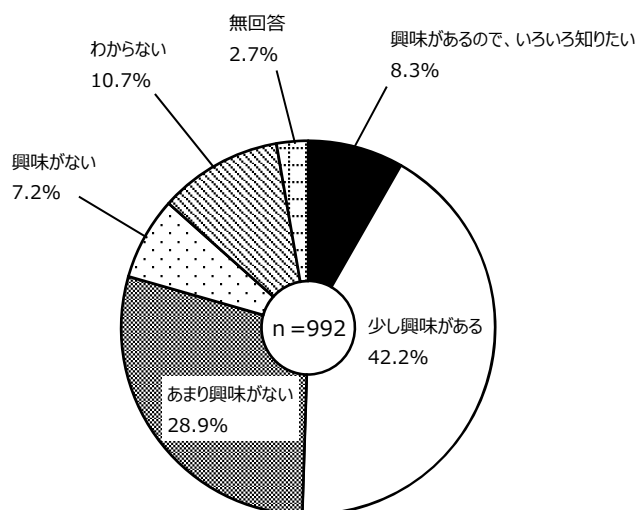


図 14 「協働」について興味があるか

■ 協働によるまちづくりを進めるために市が力を入れるべきこと（n=992：複数回答）

「具体的な協働事業や協働で得られた成果などの具体的な取組の掲載や、協働に関する制度や相談窓口をわかりやすくするなど、市のホームページの協働に関するコンテンツを充実させる」（45.4%）が最も高く4割を超えている。続いて、「提案型協働事業を市民がより利用しやすくなるよう、制度や周知方法の見直しを図る」（42.3%）、「小さな会場で、地域の身近な課題について話し合えるような事業を行う」（31.5%）、「職員が地域活動や市民活動など公益的な活動に参加しやすい環境を作る」（27.5%）となっている。

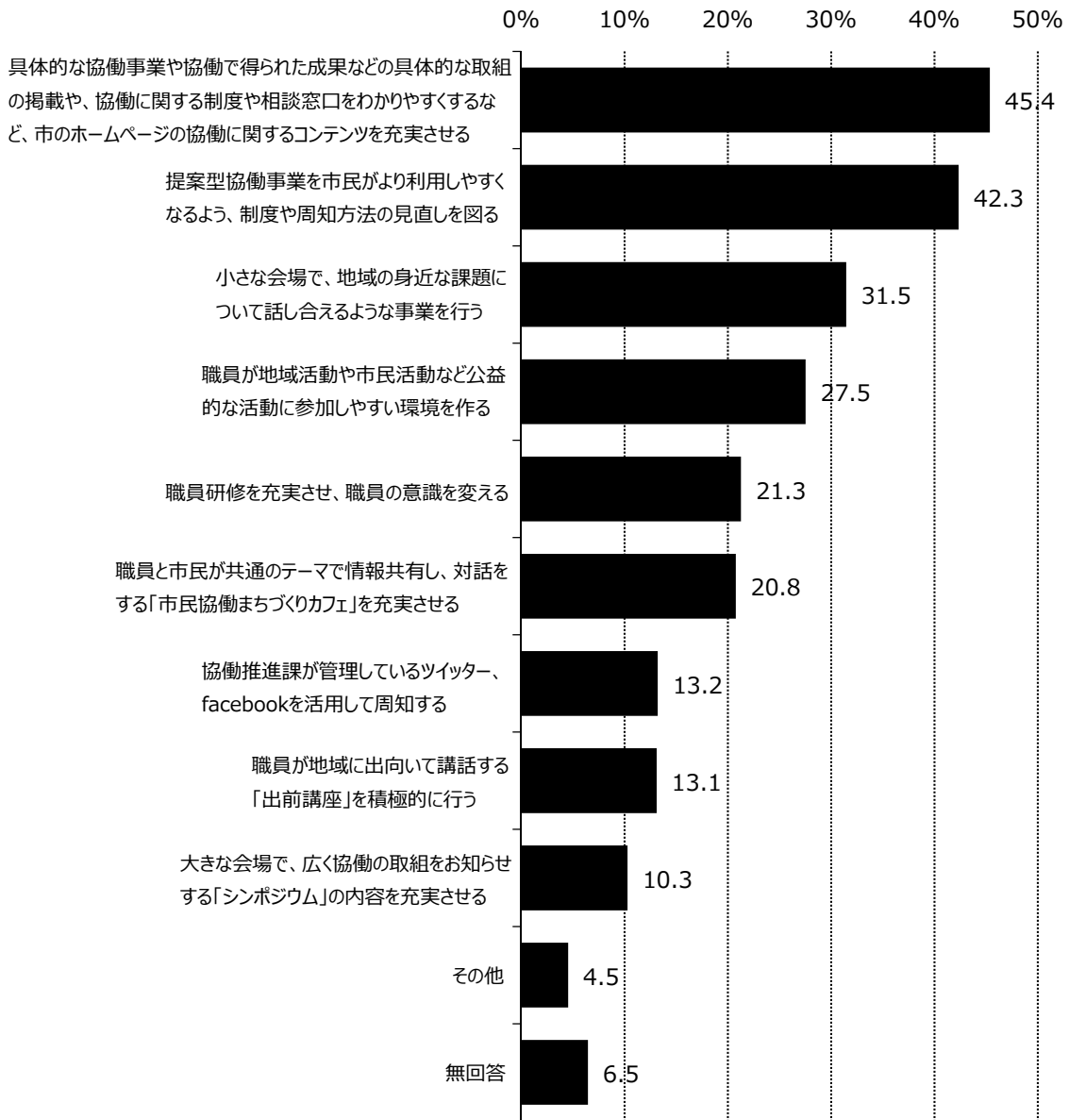


図 15 協働によるまちづくりを進めるために市が力を入れるべきこと

## 【市民活動】について

### ■「市民活動」という言葉をどの程度知っているか（n=992：複数回答）

「地域や社会に貢献するための活動である」（63.2%）が最も高く、続いて、「市民が自発的・自主的に行う活動である」（59.3%）、「自分たちだけでなく、不特定多数の人のために行う活動である」（31.9%）、「NPO法人やボランティアの活動も含まれる」（26.8%）となっている。

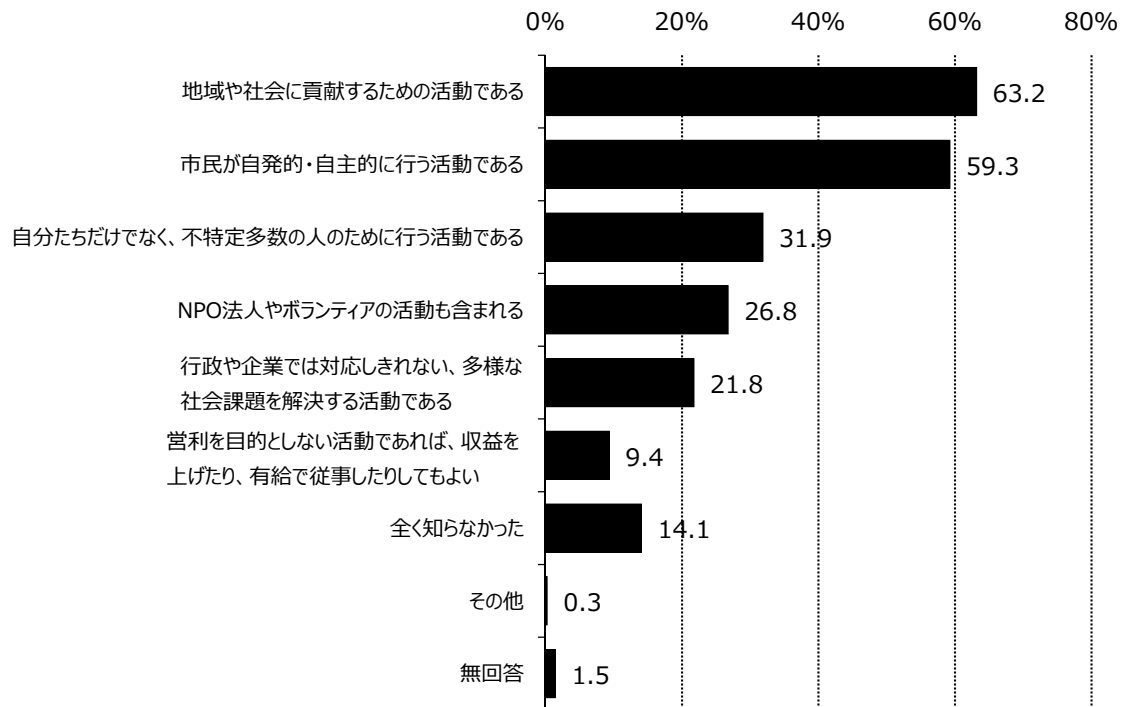


図 16 「市民活動」という言葉をどの程度知っているか

### ■「市民活動」は社会にとって必要か（n=992）

「非常に必要」（20.3%）と「ある程度必要」（63.7%）を合わせた『必要と思う』割合は 8 割を超えている（84.0%）。「あまり必要ではない」（1.1%）と「全く必要ではない」（0.4%）を合わせた『必要ではないと思う』割合は 1.5%となっている。

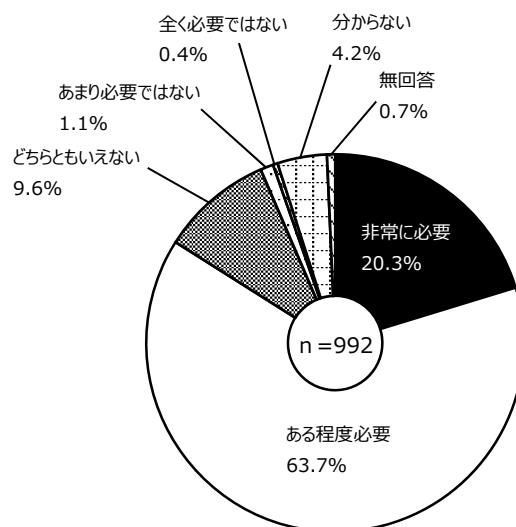


図 17 「市民活動」は社会にとって必要か

■「市民活動」に取組んだことがあるか (n=992)

「取組んだことはない」(78.4%) が最も高い。「現在取組んでいる(過去1年以内に取組んだことがある)」(8.6%)、「現在は取組んでいないが、過去に取組んだことがある」(11.3%) を合わせた『取組んだことがある』は2割程度となっている(19.9%)。

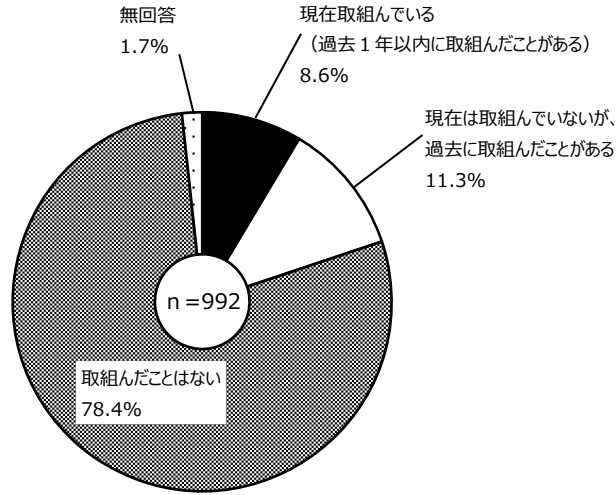
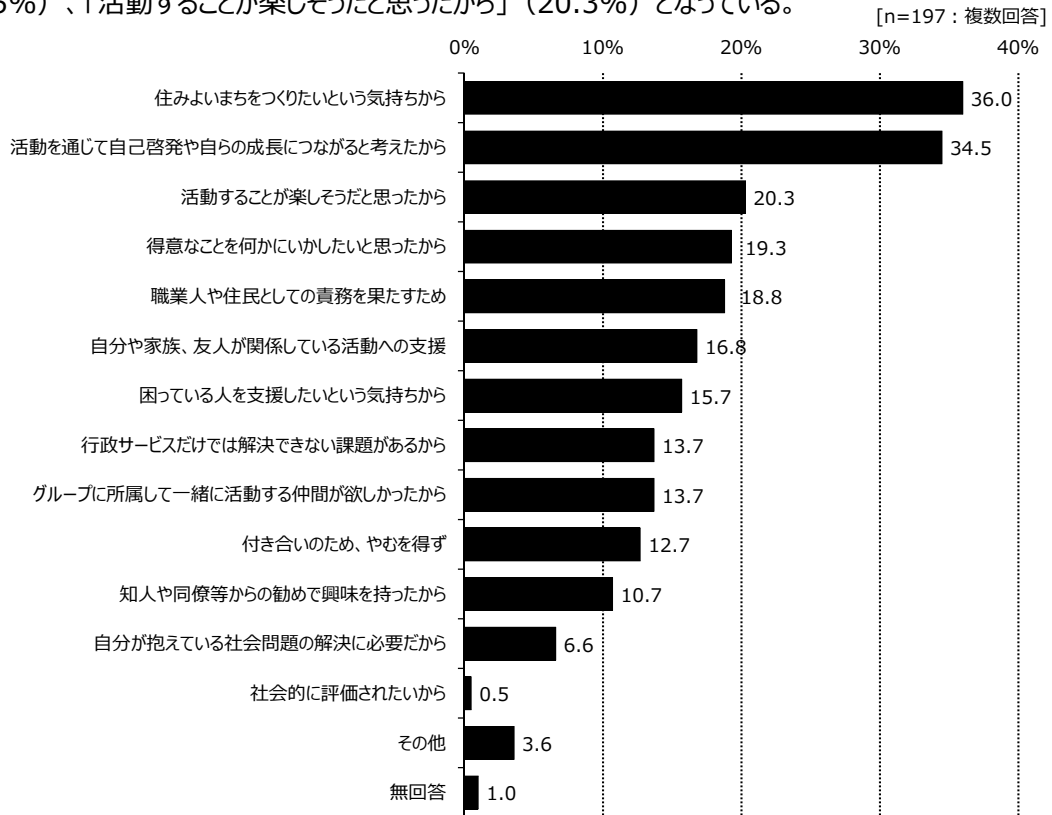


図 18 「市民活動」に取組んだことがあるか

また、「市民活動」に取組もうと思った理由としては、「住みよいまちをつくりたいという気持ちから」(36.0%) が最も高い。続いて、「活動を通じて自己啓発や自らの成長につながると考えたから」(34.5%)、「活動することが楽しそうだったから」(20.3%) となっている。

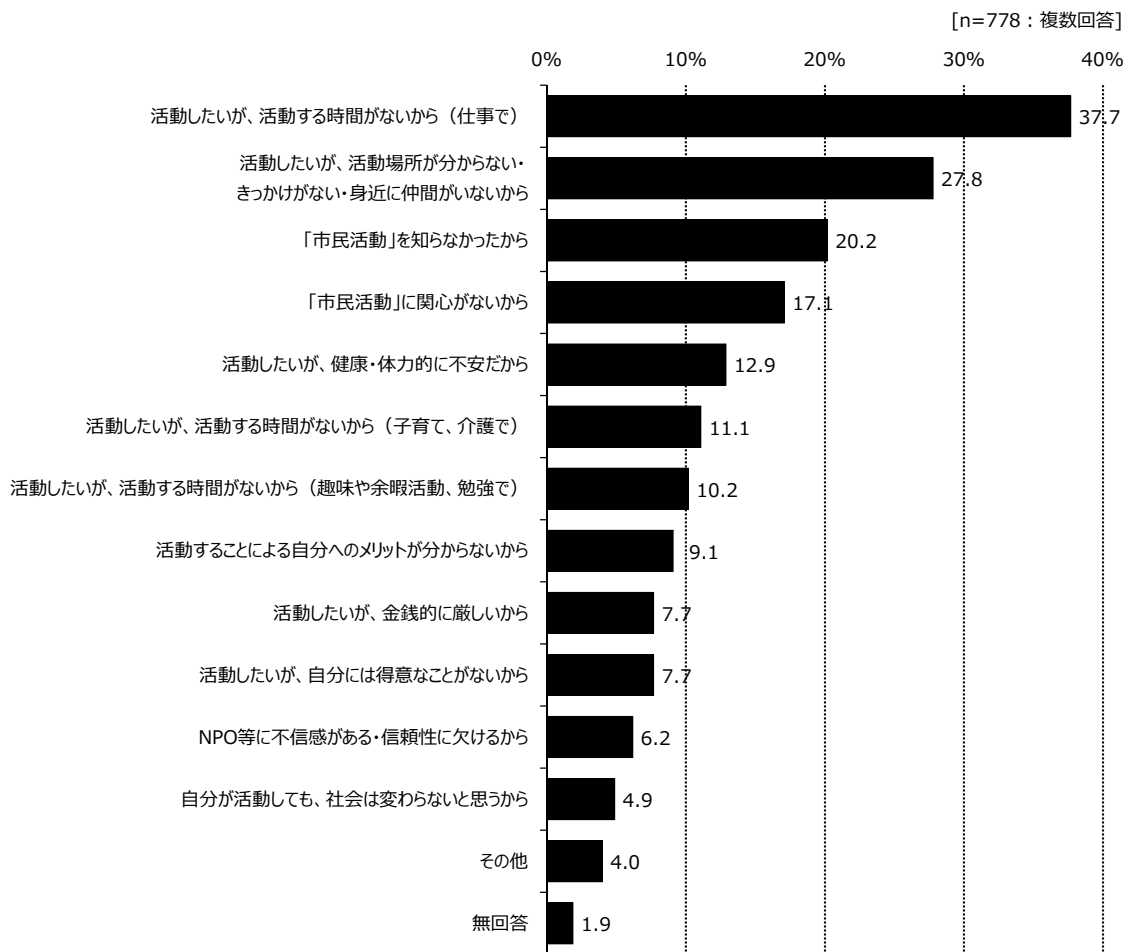


※図 18 で「現在取組んでいる」「現在は取組んでいないが、過去に取組んだことがある」を選択した回答者を対象とする

図 19 「市民活動」に取組もうと思った理由



また、「市民活動」に取り組んでいない理由として、「活動したいが、活動する時間がないから（仕事で）」（37.7%）が最も高い。続いて、「活動したいが、活動場所が分からない・きっかけがない・身近に仲間がないから」（27.8%）、「市民活動」を知らなかったから」（20.2%）となっている。



※図 18 で「取組んだことはない」を選択した回答者を対象とする

図 20 「市民活動」に取り組んでいない理由

■ どのような分野の「市民活動」が増えると良いと思うか（n=992：複数回答）

「高齢者を対象とした活動」（41.9%）が最も高い。続いて、「健康・医療サービスに関係した活動」、「安全な生活のための活動」（40.1%）、「子どもを対象とした活動」（36.5%）となっている。

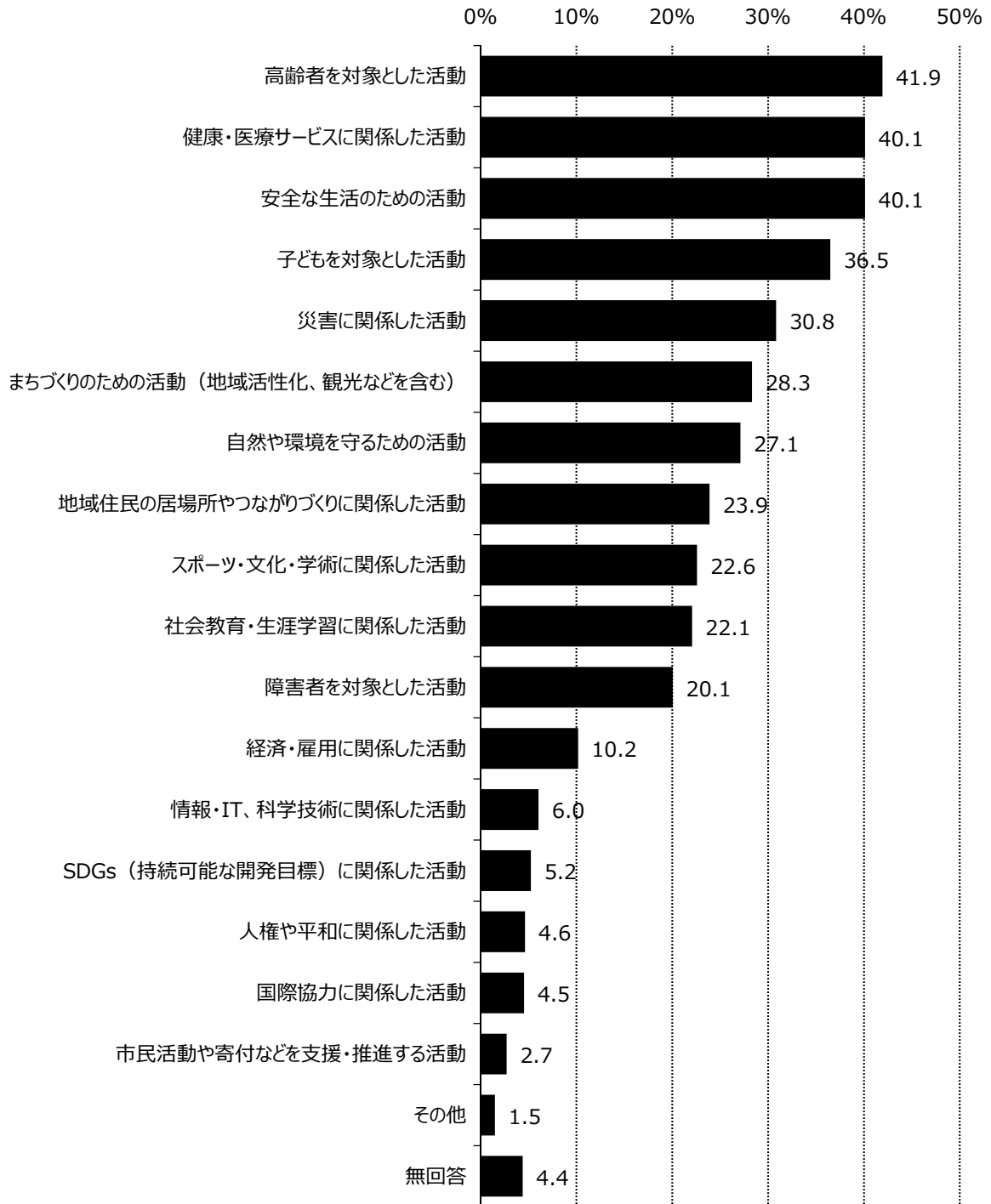


図 21 どのような分野の「市民活動」が増えると良いと思うか

## 【働き方改革の推進に対する取組】について

### ■ 仕事と仕事以外の時間の割合の現状と理想 (n=992)

「現状」は「仕事」の割合が多い(54.0%)が最も高く、5割を超えているが、「理想」は「仕事」の割合と「仕事」以外の割合が同じくらい(51.7%)が5割を超え、最も高くなっている。

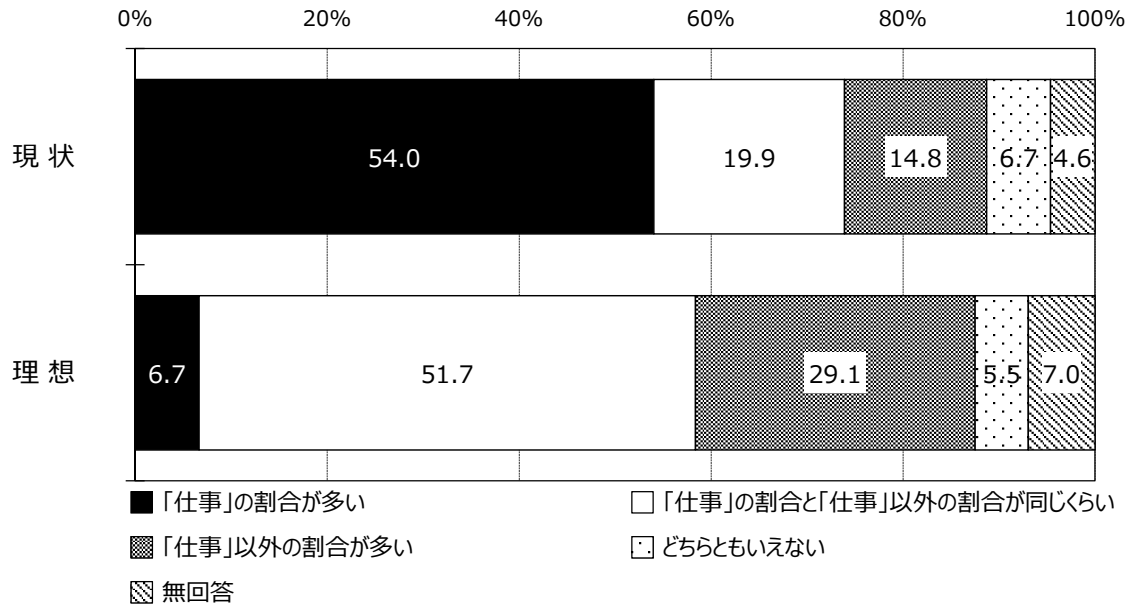


図 22 仕事と仕事以外の時間の割合の現状と理想

■ 働き方改革の推進に対する市が力を入れるべき取組（n=992）

「非常に重要」と「重要」を合わせた『重要と感じる』取組は、「子育て・介護と仕事の両立支援策の充実や活用を促進する」（88.0%）、「出産・子育てにより退職した女性や若者が活躍しやすい環境を整備する」（83.0%）、「障害者等の希望や能力をいかした障害者就労支援を推進する」（76.7%）の順で高い。「重要ではない」と「まったく重要ではない」を合わせた『重要ではないと感じる』取組は、「心身のリフレッシュや健康増進を図るため、保養施設（市民保養所やちほ）の利用を促進する」（18.4%）、「公的助成制度の紹介、表彰制度や優遇制度を創設する」（17.0%）、「同一労働同一賃金の実現やアルバイト・パート（非正規雇用労働者）の正社員化など非正規雇用の処遇改善を促進する」（5.8%）の順で高い。

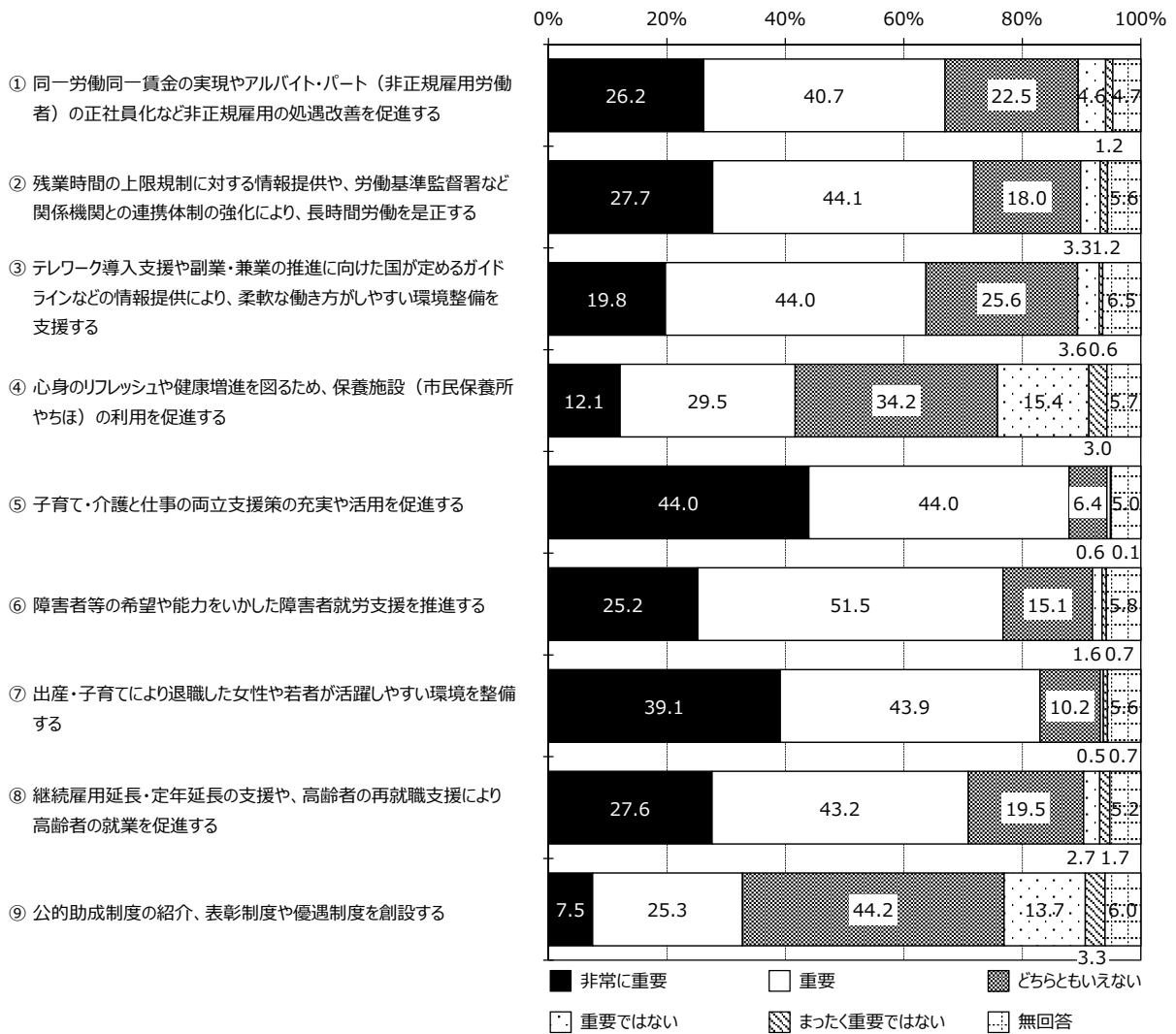


図 23 働き方改革の推進に対する市が力を入れるべき取組

## 【環境問題に対する取組】について

### ■ 環境に関する取組 (n=992)

「取組んでいる」は、「レジ袋や過剰包装の辞退、マイバック等の使用に取組んでいる」(70.1%)、「照明器具を購入する際は、LED製品を選んで購入している」(70.0%)、「冷蔵庫を購入する際は、エコラベル等がついた環境にやさしい製品を選んで購入している」(46.0%)の順で高い。「取組んでいない」は、「太陽光発電システムを設置している」(86.8%)、「環境保全活動センターを積極的に活用し、情報収集やイベント等に参加している」(74.3%)、「高効率給湯器(エコキュート、エコジョーズ等)を設置している」(65.7%)の順で高い。

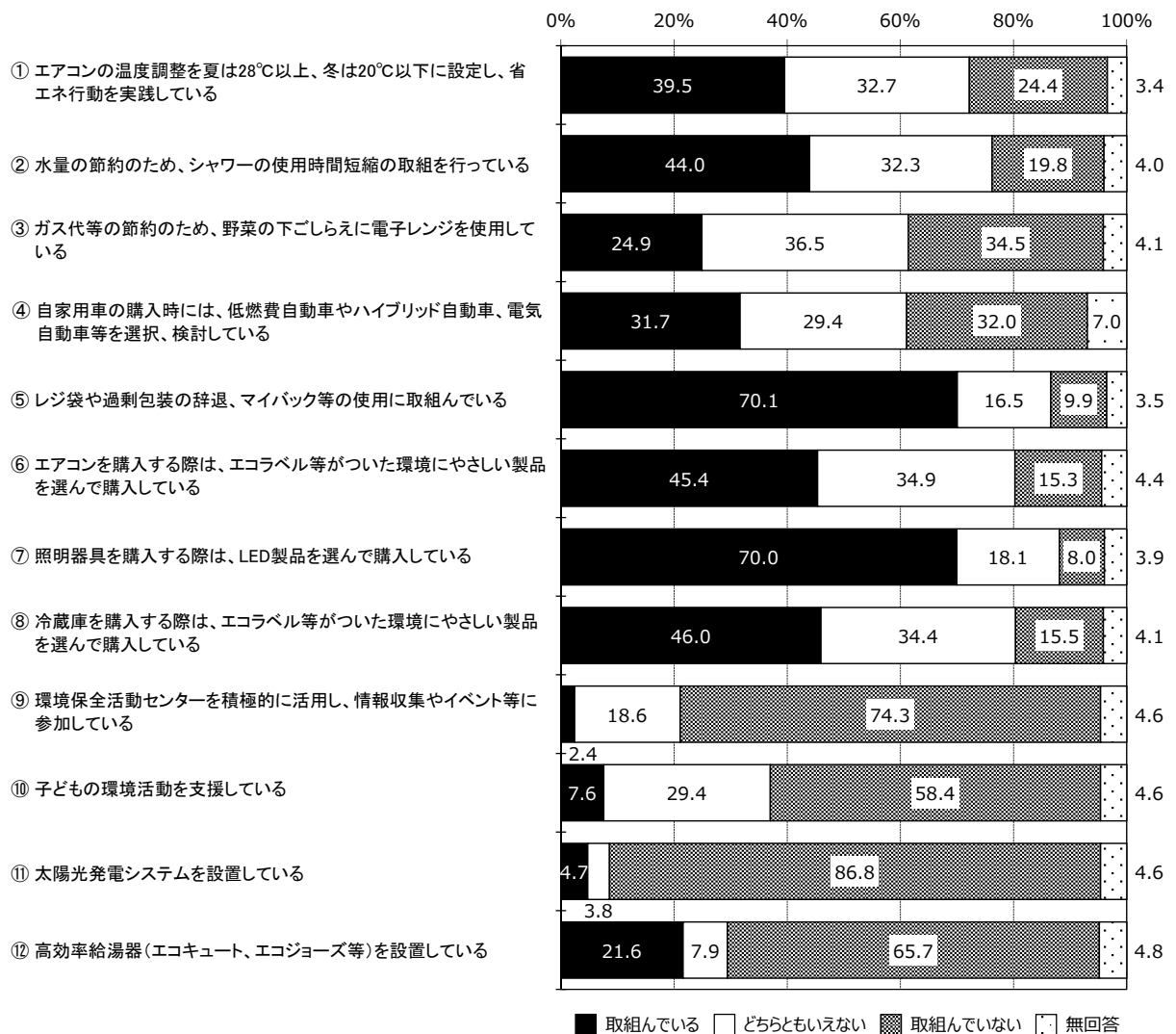


図 24 環境に関する取組

## 【生物多様性地域戦略】について

### ■「生物多様性」という言葉を知っているか (n=992)

「聞いたことがない」(37.1%) が4割近くで最も高い。「意味は知らないが、聞いたことはある」(30.5%)、「言葉の意味を知っている」(29.4%) は3割程度となっている。

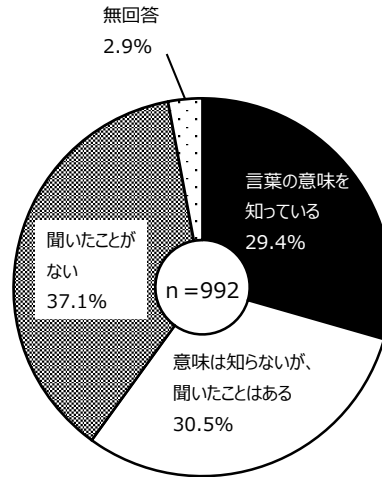


図 25 「生物多様性」という言葉を知っているか

### ■ 生物多様性保全活動に参加したいか (n=992)

「わからない」(38.1%) が最も高く、続いて、「内容によっては参加したい」(36.1%)、「参加したくない」(19.7%) の順になっている。

また、どのような生物多様性保全活動であれば参加したいかについては、「自然観察会（自然観察ウォーキングツアー等）」(54.0%)、「生きもの調査（自然環境調査等）」(31.6%)、「自然体験活動（水辺の楽校等）」(22.2%) の順になっている。

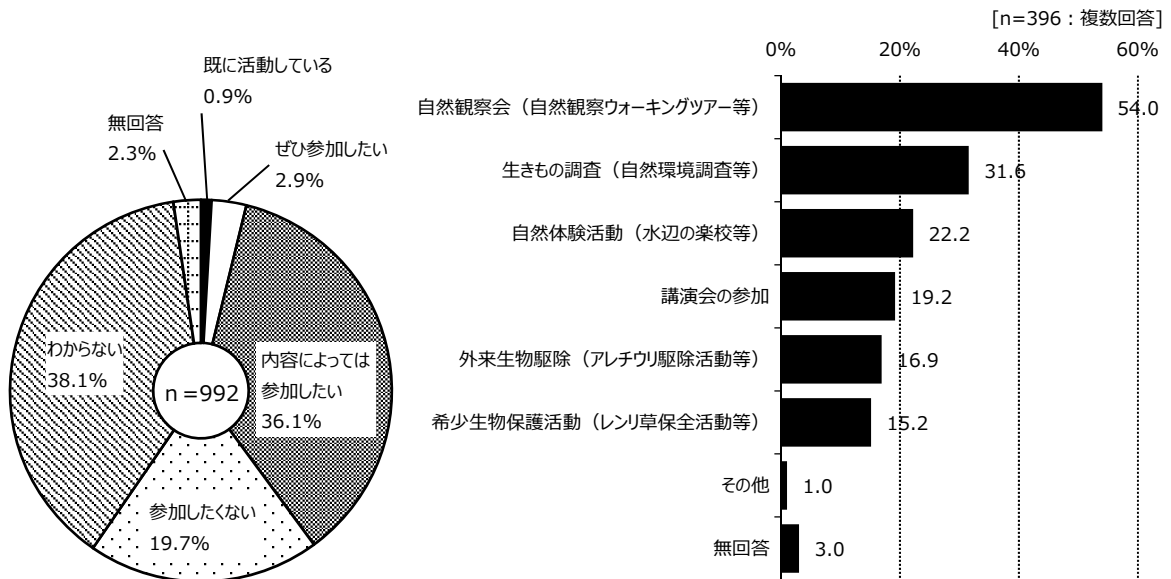


図 26 生物多様性保全活動に参加したいか

※図 26 で「既に活動している」「ぜひ参加したい」「内容によっては参加したい」を選択した回答者を対象とする

図 27 参加したいと思う保全活動

■ 生物多様性の保全に向けて、行政に期待すること (n=992)

「外来生物への対策」(42.8%) が最も高く、続いて、「教育・普及啓発の充実」(17.9%)、  
「行事・イベントの充実」(9.1%) となっている。

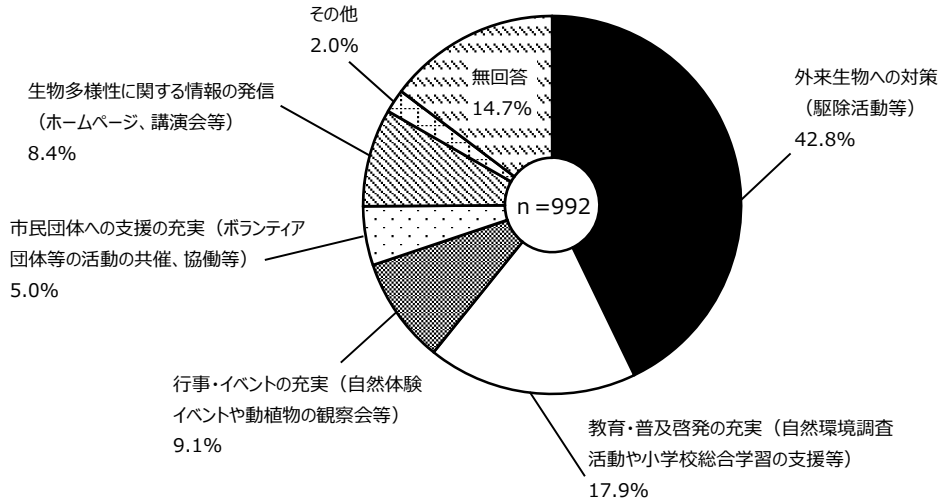


図 28 生物多様性の保全に向けて、行政に期待すること

【にぎわいのあるまちづくり】について

■ 府中駅周辺施設の利用頻度 (n=992)

「ほとんど毎日」、「週に4回以上」、「主に平日、週1～3回程度」、「主に休日、週1～3回程度」を合わせた『週1回以上』が5割近くを占めている (47.8%)。

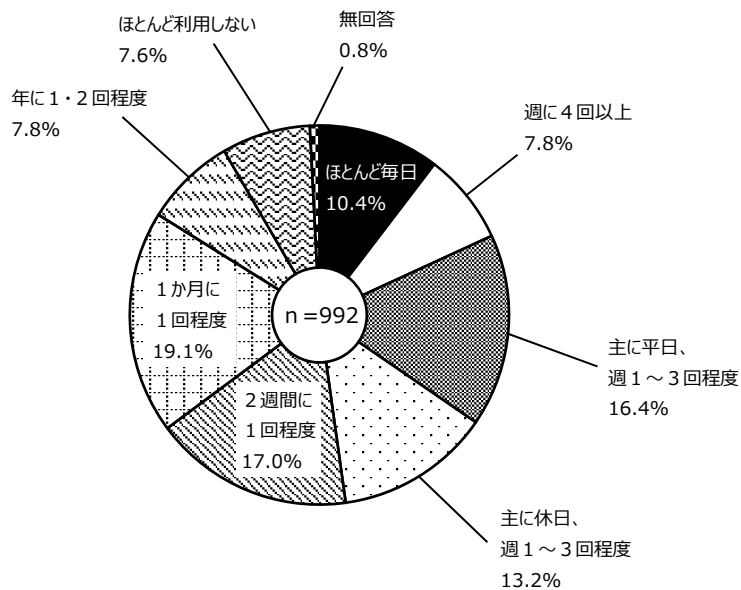


図 29 府中駅周辺施設の利用頻度

■ 府中駅周辺施設の利用目的（n=992：複数回答）

「食料品や日用品などを購入するため」（62.8%）が6割を超え最も高くなっている。続いて、「交通機関を利用するため」（42.1%）、「飲食店を利用するため」（39.0%）となっている。

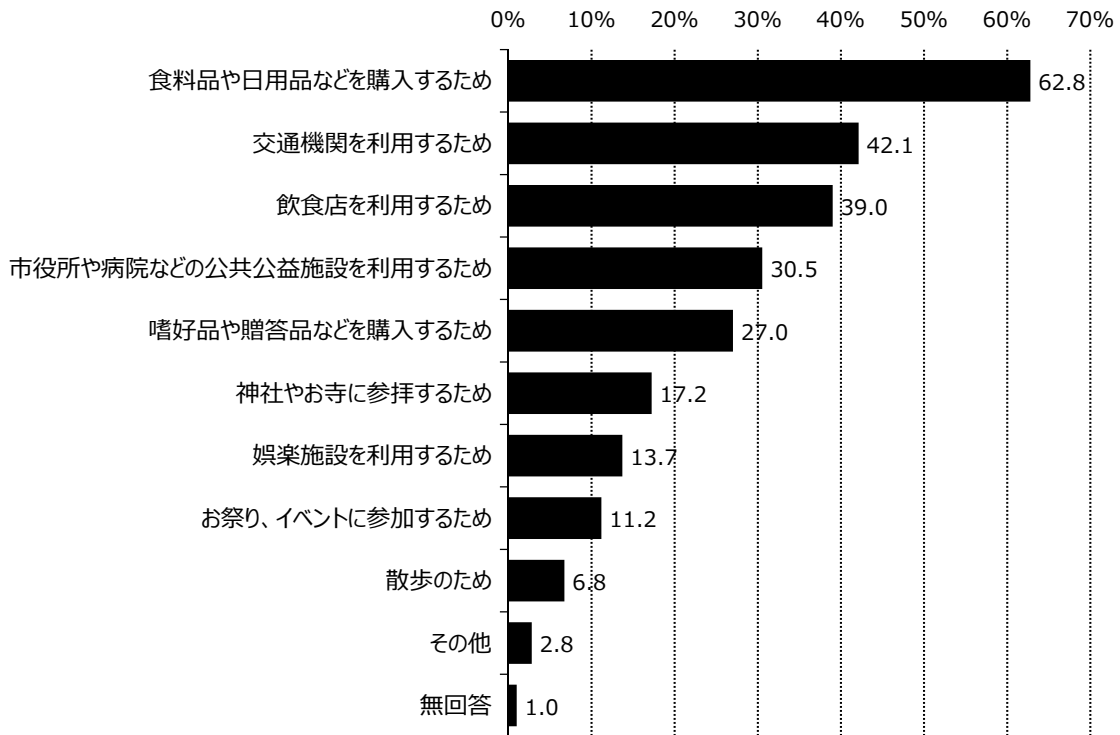


図 30 府中駅周辺施設の利用目的

■ 府中市近隣の主要駅周辺施設の利用頻度（n=992）

「ほとんど毎日」、「週に4回以上」、「主に平日、週1～3回程度」、「主に休日、週1～3回程度」を合わせた『週1回以上』は3割程度となっている（31.5%）。

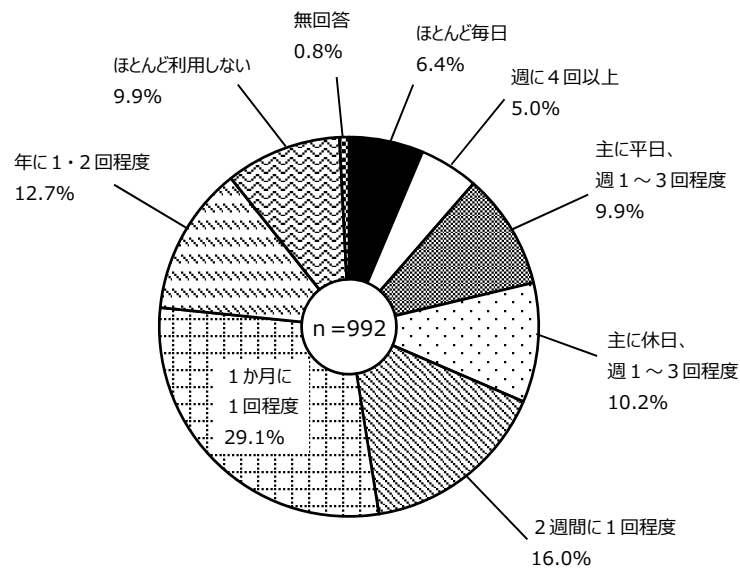


図 31 府中市近隣の主要駅周辺施設の利用頻度



■ 府中市近隣の主要駅周辺施設の利用目的（n=992：複数回答）

「交通機関を利用するため」、「食料品や日用品などを購入するため」（49.4%）が5割近くで最も高い。続いて、「飲食店を利用するため」（45.7%）、「嗜好品や贈答品などを購入するため」（34.1%）となっている。

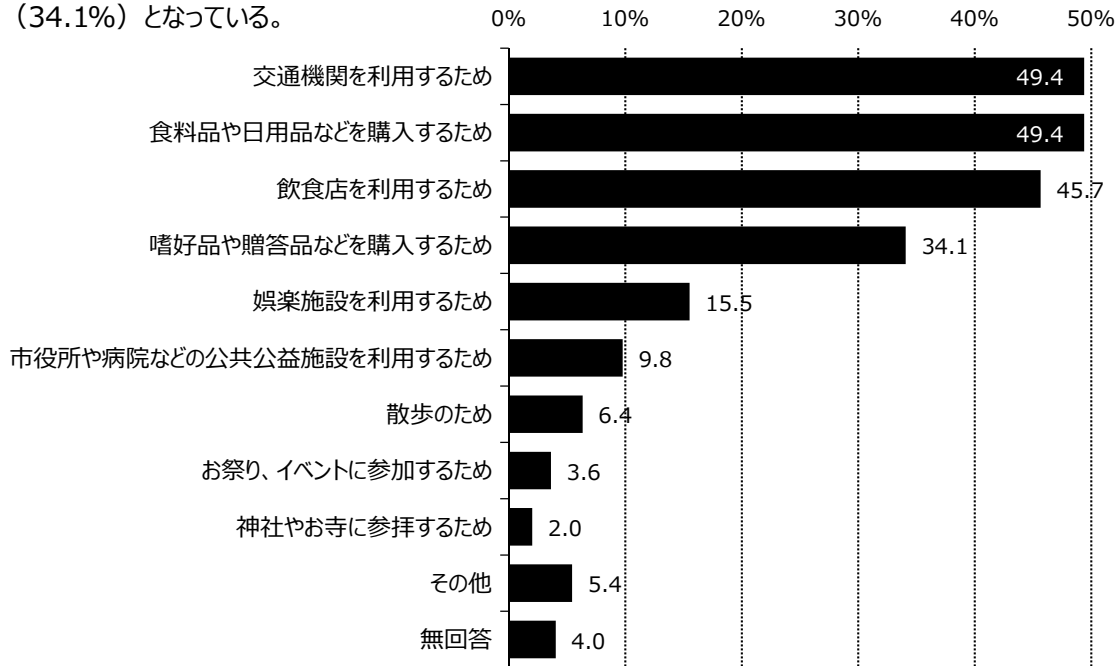


図 32 府中市近隣の主要駅周辺施設の利用目的

【郷土の森博物館】について

■ 郷土の森博物館に来館したことがあるか（n=992）

「1回だけ来館したことがある」と「複数回来館したことがある」を合わせた『来館したことがある』割合は、7割半ばを超えている（76.5%）。

また、郷土の森博物館の来館目的としては、「プラネタリウムを観覧するため」（56.7%）が最も高い。

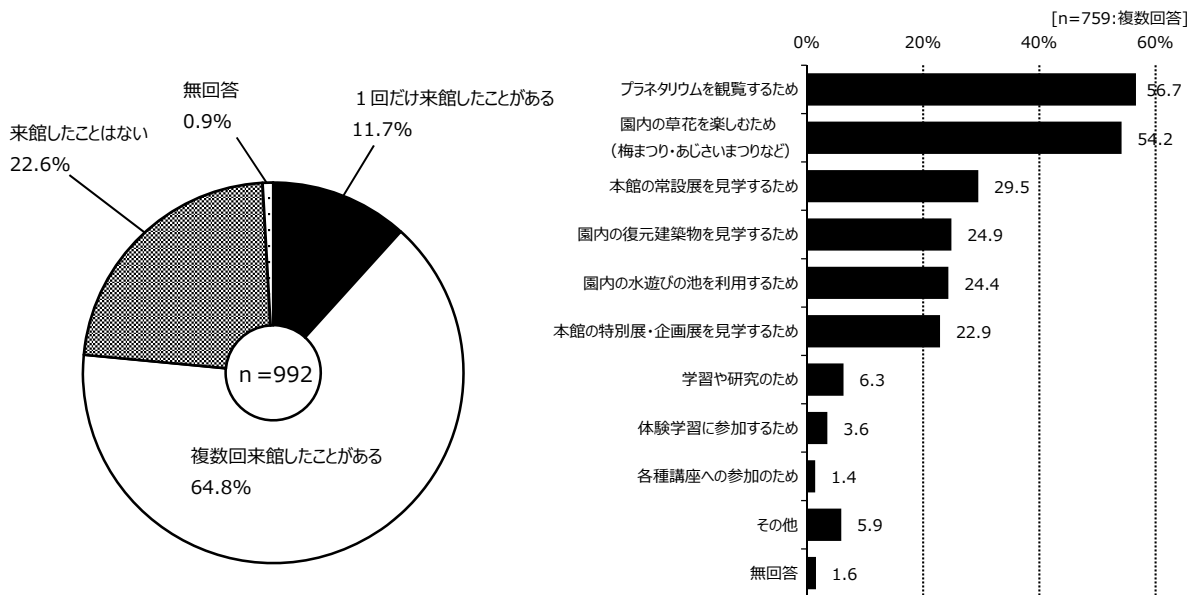


図 33 郷土の森博物館に来館したことがあるか

※図 33 で「1回だけ来館したことがある」「複数回来館したことがある」を選択した回答者を対象とする

図 34 郷土の森博物館への来館目的

■ 博物館に求める役割は何か (n=992)

「郷土の自然に親しむ憩いの場」(29.4%) が最も高く、3割近くを占めている。

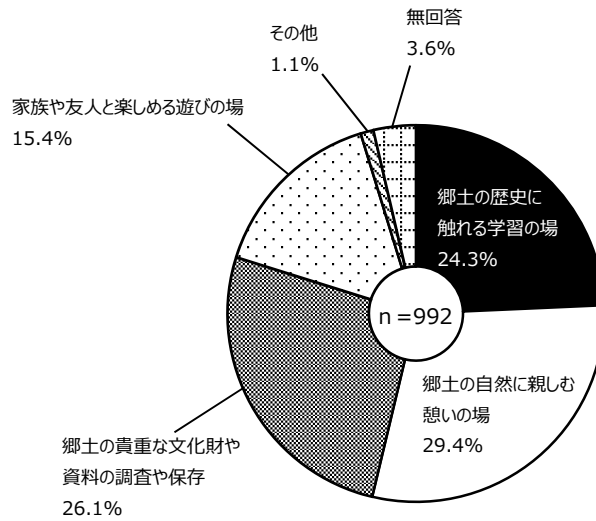


図 35 博物館に求める役割は何か

■ 博物館（プラネタリウムを除く）の今後の運営について期待すること (n=992：複数回答)

「特別展・企画展の開催回数及び展示内容の充実」(44.0%)、「常設展の展示内容の充実」(41.4%)、「園内の草花の充実」(33.6%)、「市内小中学校による学習利用の促進」(29.9%)の順になっている。

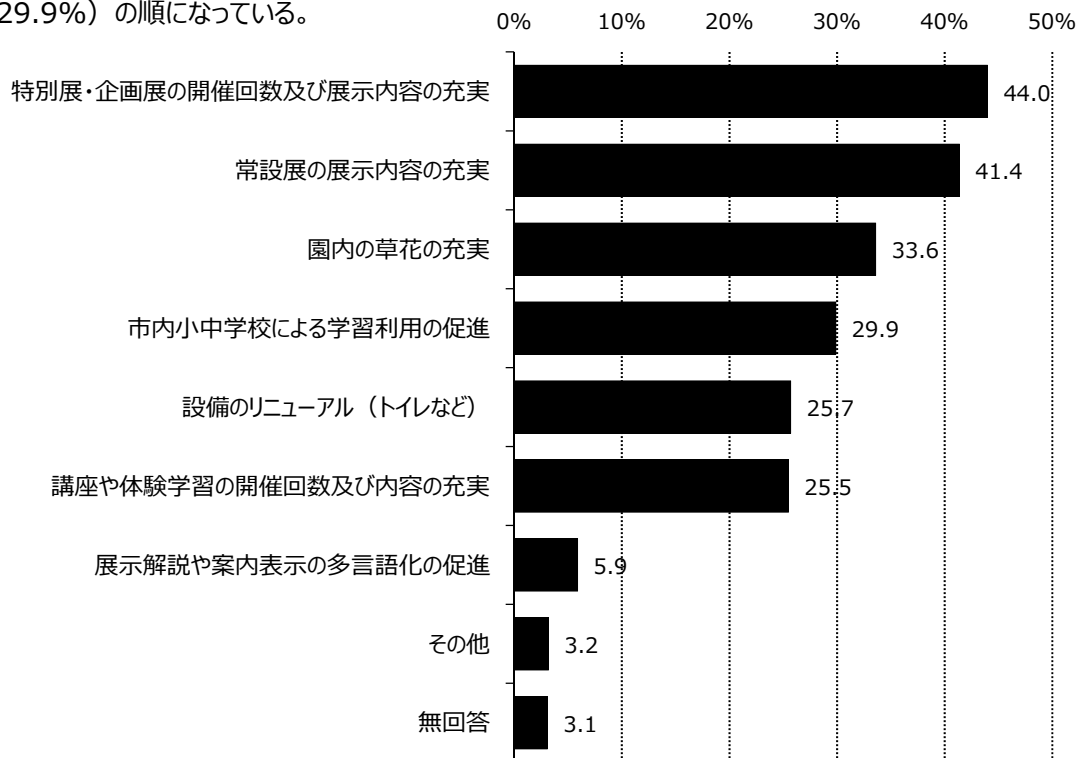


図 36 博物館（プラネタリウムを除く）の今後の運営について期待すること

■ プラネタリウムの今後の運営について期待すること（n=992：複数回答）

「4Kプロジェクターを生かした、迫力ある映像番組の充実」（49.8%）が約5割で最も高い。続いて、「星空と音楽を同時に楽しめるコンサートの充実」（36.5%）、「スタッフによる生解説で星空を紹介する番組の充実」（24.1%）となっている。

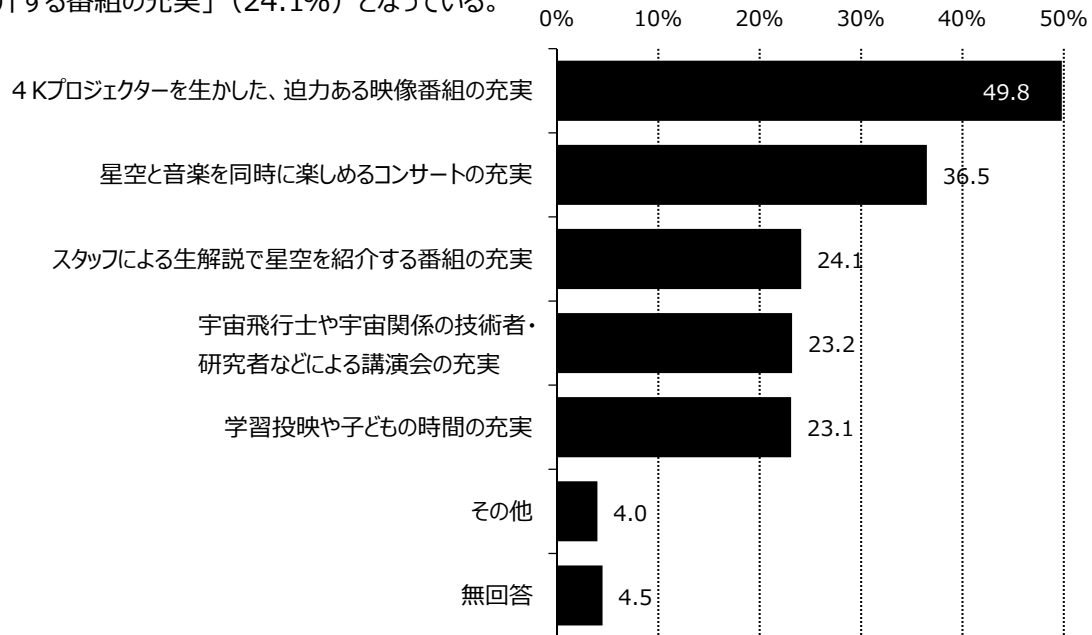


図 37 プラネタリウムの今後の運営について期待すること

【スポーツ・運動】について

■ スポーツ活動全般についてどう思うか（n=992）

「必要である」と「ある程度必要である」を合わせた『必要と思っている』割合は9割近くを占めている（87.0%）。

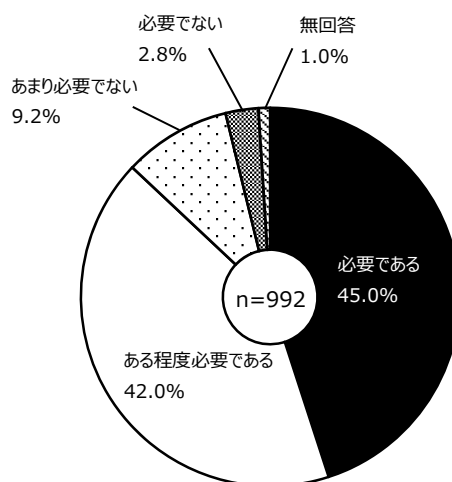


図 38 スポーツ活動全般についてどう思うか

■この1年間にスポーツや運動を行ったか（n=992：複数回答）

「ウォーキング、散歩」（70.6%）が7割を超えて最も高い。続いて、「軽い運動」（40.9%）、「アウトドアスポーツ」（21.7%）の順になっている。一方、低い方から見ると、「パラスポーツ」（1.0%）、「武道、格闘技」（1.5%）、「屋内スポーツ」（6.0%）の順となっている。

また、「スポーツや運動はしなかった」（11.5%）は1割ほどとなっている。

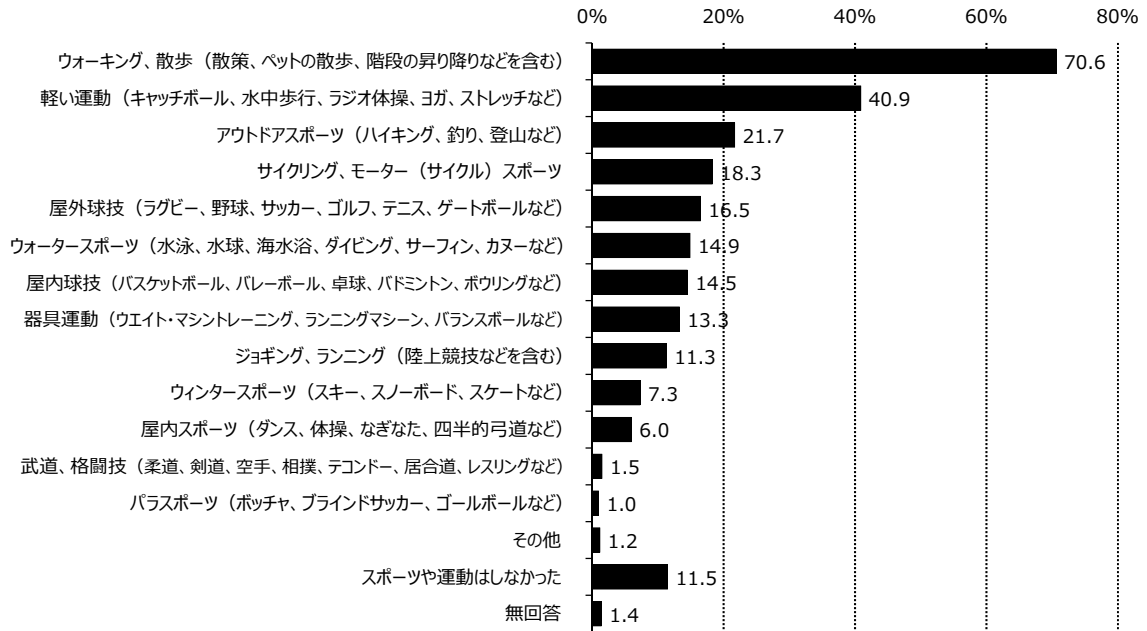
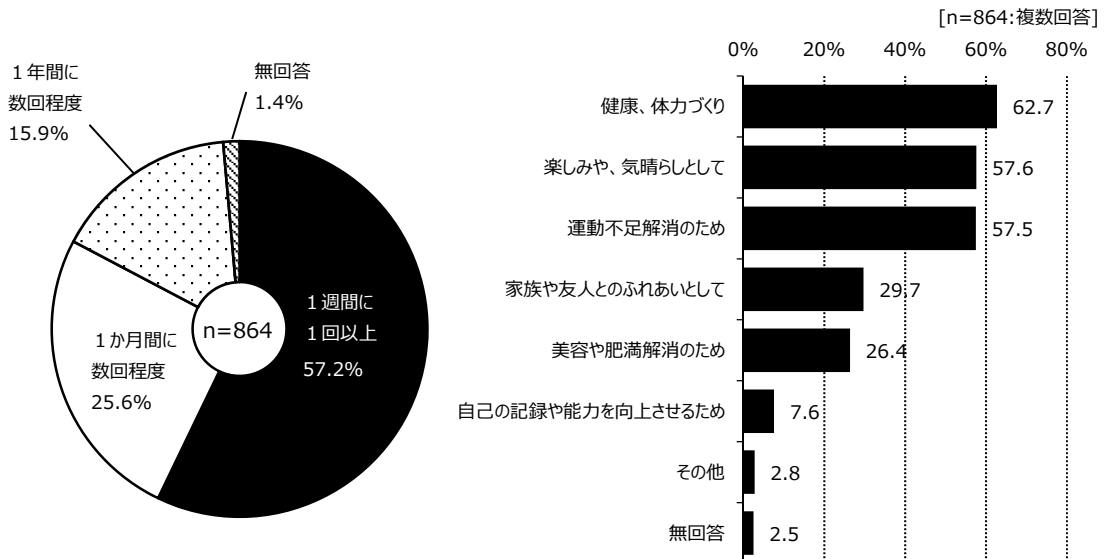


図 39 この1年間にスポーツや運動を行ったか

頻度としては、「1週間に1回以上」（57.2%）が最も高く、5割半を超えている。

また、スポーツや運動をした理由としては、「健康、体力づくり」（62.7%）、「楽しみや、気晴らしとして」（57.6%）、「運動不足解消のため」（57.5%）が5割を超えている。

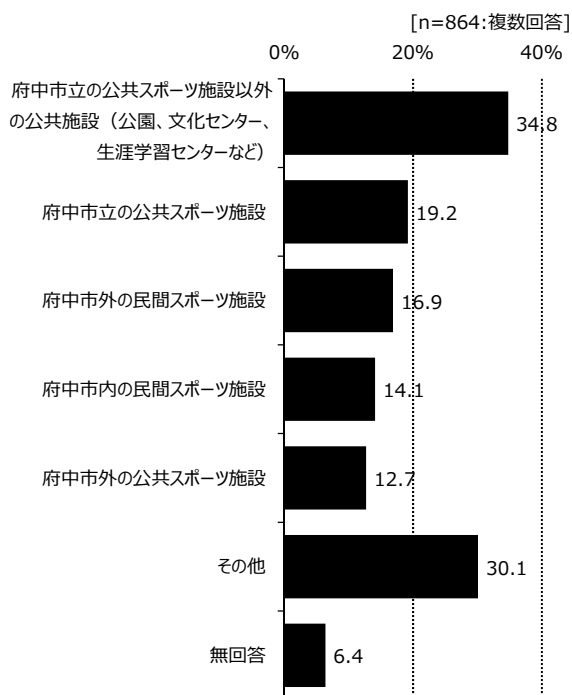


※図 39 で行ったスポーツを選択した回答者を対象とする

図 40 この1年間にスポーツや運動を行った頻度

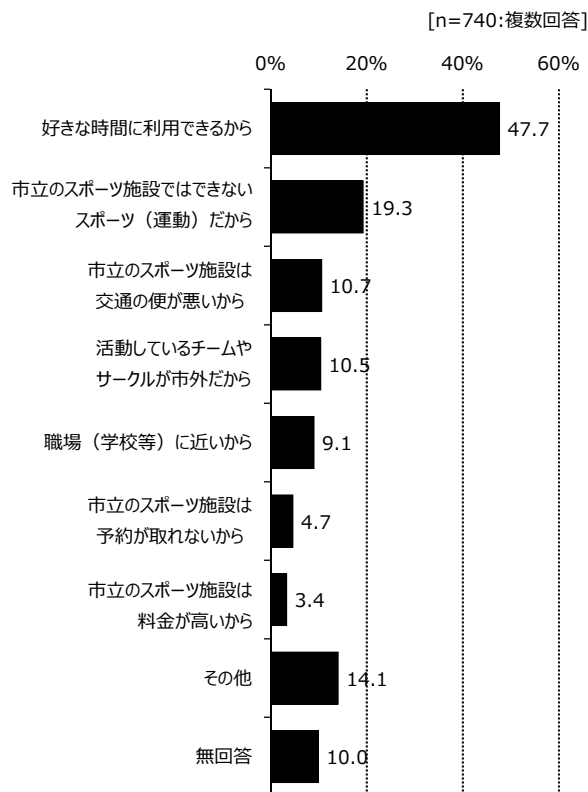
図 41 スポーツや運動をした理由

スポーツや運動をした場所としては、「府中市立の公共スポーツ施設以外の公共施設（公園、文化センター、生涯学習センターなど）」（34.8%）が最も高い。また、府中市立の公共スポーツ施設以外でスポーツや運動をした理由としては、「好きな時間に利用できるから」（47.7%）が最も高い。



※図 39 で行ったスポーツを選択した回答者を対象とする

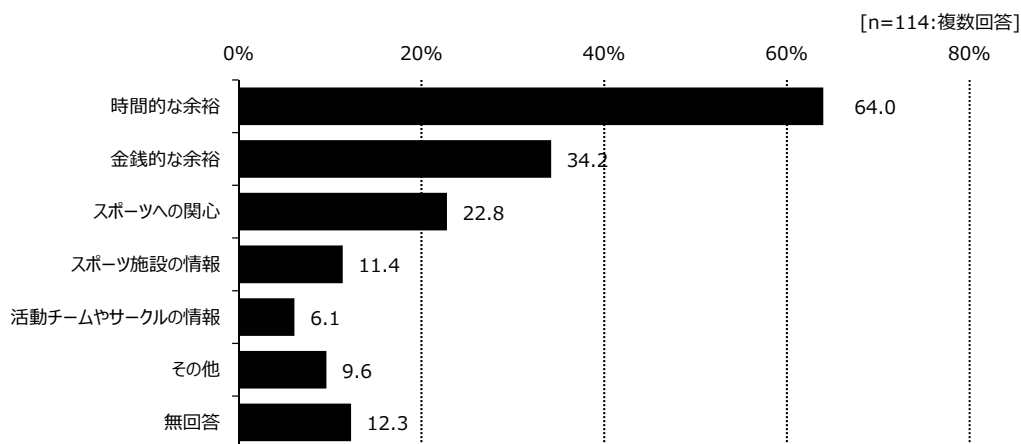
図 42 スポーツや運動をした場所



※図 42 で「府中市立の公共スポーツ施設」以外を選択した回答者を対象とする

図 43 府中市立の公共スポーツ施設以外でスポーツや運動をした理由

スポーツや運動をするために必要なものとしては、「時間的な余裕」（64.0%）が最も高い。続いて、「金銭的な余裕」（34.2%）、「スポーツへの関心」（22.8%）の順になっている。



※図 39 で「スポーツや運動はしなかった」を選択した回答者を対象とする

図 44 スポーツをするために何が必要か

■ 今後行ってみたいスポーツや運動（n=992：複数回答）

「ウォーキング、散歩」（46.7%）、「軽い運動」（37.1%）、「アウトドアスポーツ」（28.2%）、「ウォータースポーツ」（21.4%）の順に高い。

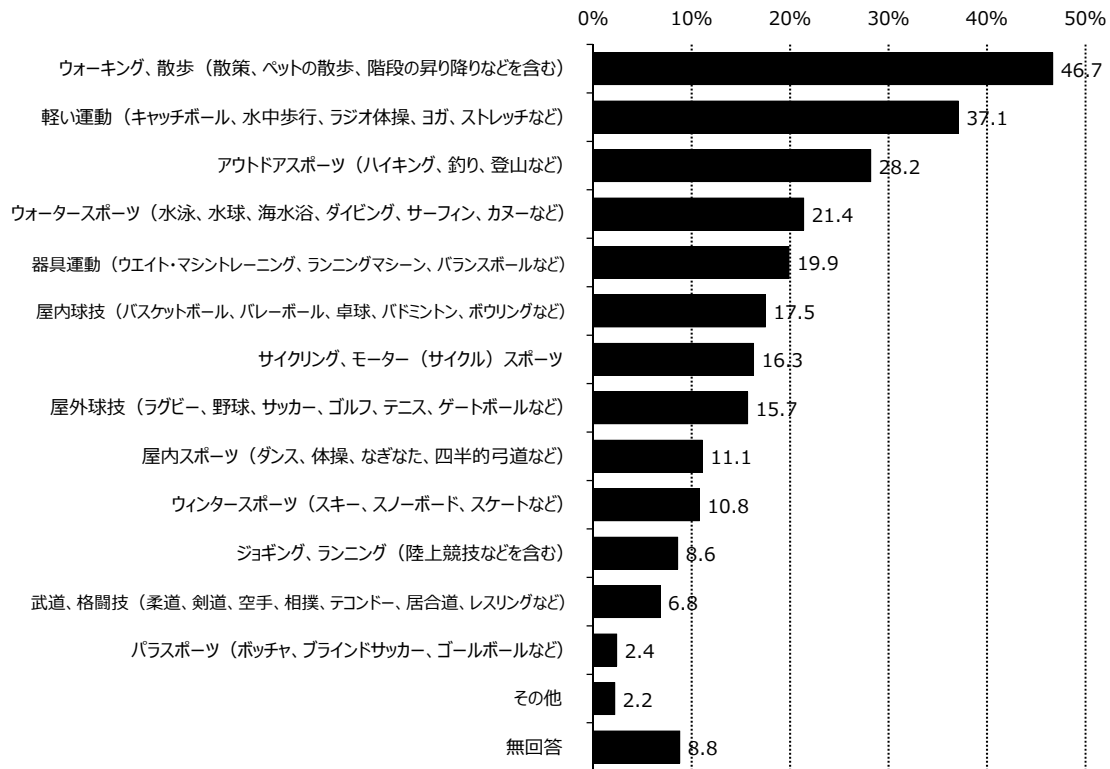


図 45 今後行ってみたいスポーツや運動

■ 府中市を拠点に活動するトップチームの認知度（n=992：複数回答）

「FC東京（サッカー）」（82.0%）が8割を超えて最も高い。続いて、「東芝ブルーパス（ラグビー）」（70.3%）、「サントリーサンゴリアス（ラグビー）」（59.6%）の順になっている。

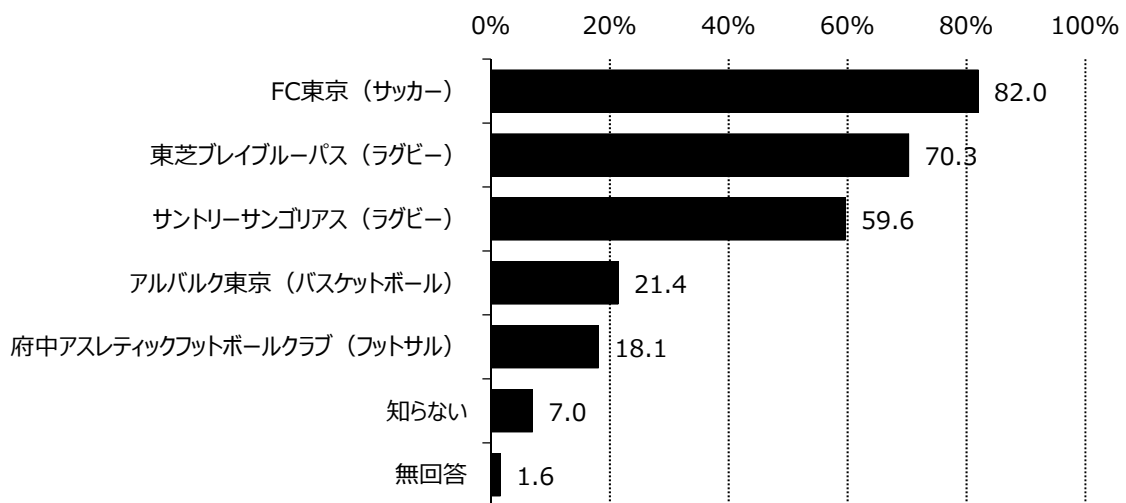


図 46 府中市を拠点に活動するトップチームの認知度

■この1年間で観戦したトップチーム（n=992：複数回答）

「観戦していない」（67.5%）が6割を超えて、最も多い。観戦した試合では、「FC東京（サッカー）」（23.2%）、「東芝ブレイブルーパス（ラグビー）」（12.2%）、「サントリーサンゴリアス（ラグビー）」（11.9%）、「アルバルク東京（バスケットボール）」（4.9%）、「府中アスレティックフットボールクラブ（フットサル）」（2.2%）の順になっている。

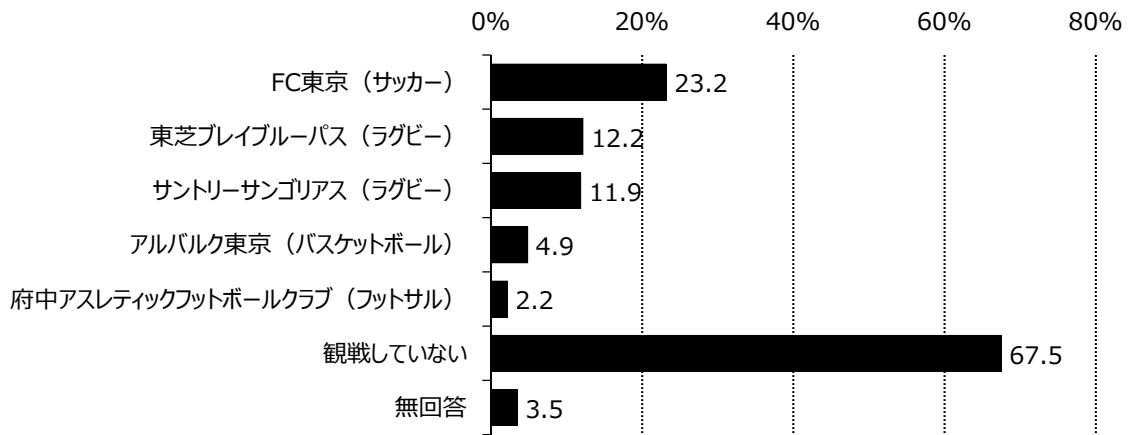
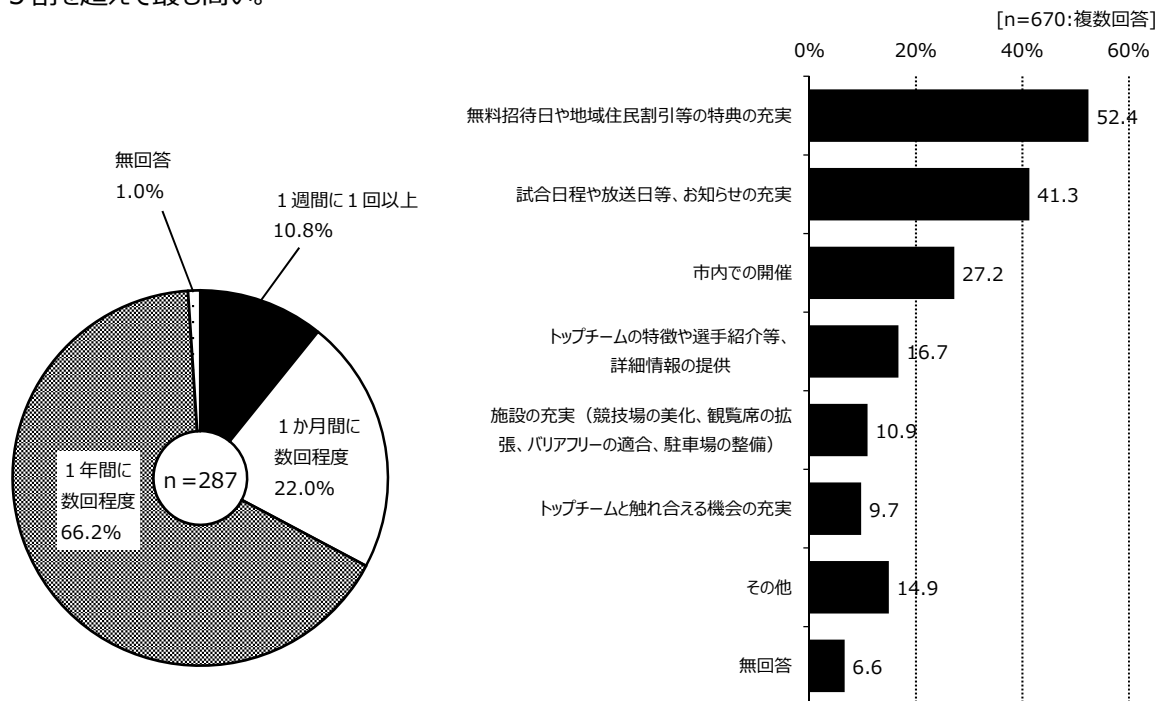


図 47 この1年間で観戦したトップチーム

観戦頻度としては、「1年間に数回程度」（66.2%）が6割を超えて最も高い。

また、観戦するために必要なことは、「無料招待日や地域住民割引等の特典の充実」（52.4%）が5割を超えて最も高い。



※図 47 で観戦したことがあるトップチームを選択した回答者を対象とする

※図 47 で「観戦していない」を選択した回答者を対象とする

図 48 トップチームの試合観戦の頻度

図 49 試合観戦するために必要なこと

## 【インフラマネジメント】について

### ■ 市のインフラの維持管理に対する現状や課題についての関心度 (n=992)

「強い関心がある」と「少し関心がある」を合わせた『関心がある』割合は8割近く（77.2%）を占めている。

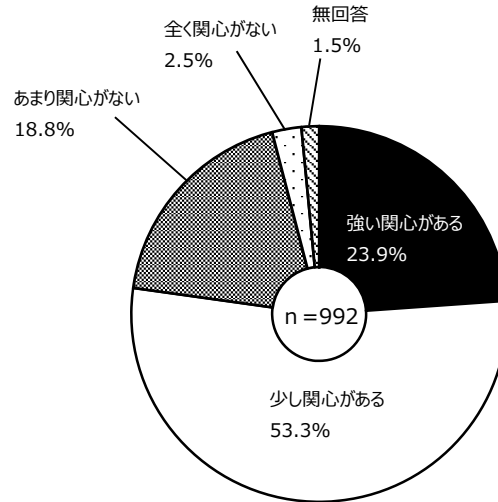


図 50 市のインフラの維持管理に対する現状や課題についての関心度

### ■ 「府中市インフラマネジメント計画（2018年度）」を知っているか (n=992)

「知らない」（82.1%）が8割を超えている。

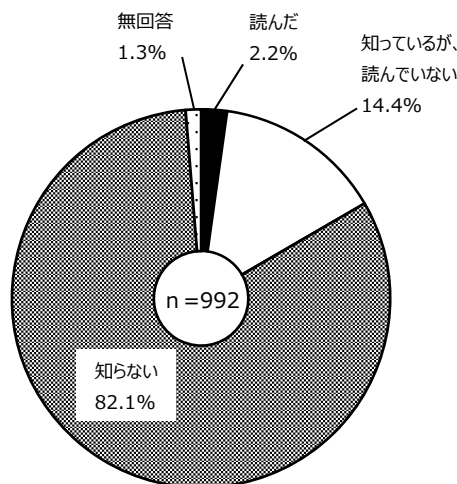


図 51 「府中市インフラマネジメント計画（2018年度）」を知っているか



■「府中市インフラマネジメント計画（2018年度）」で示している施策をどう思うか  
(n=992)

「実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」を合わせた『実施すべきと思う』は、「舗装や橋などの点検結果に基づき、計画的に補修することで、長寿命化を図る」（94.0%）、「インフラマネジメントの内容や取組など、インフラ管理の実態を市民に周知し、理解を求める」（91.4%）、「インフラの異常や不具合などを受ける情報通信技術を活用した通報制度を導入し、迅速化を図る」（90.7%）の順で高い。

「どちらかといえば実施すべきでない」と「実施すべきでない」を合わせた『実施すべきでないと思う』は、「市民生活に影響が出ない範囲において、インフラを減らす」（36.8%）が最も高い。

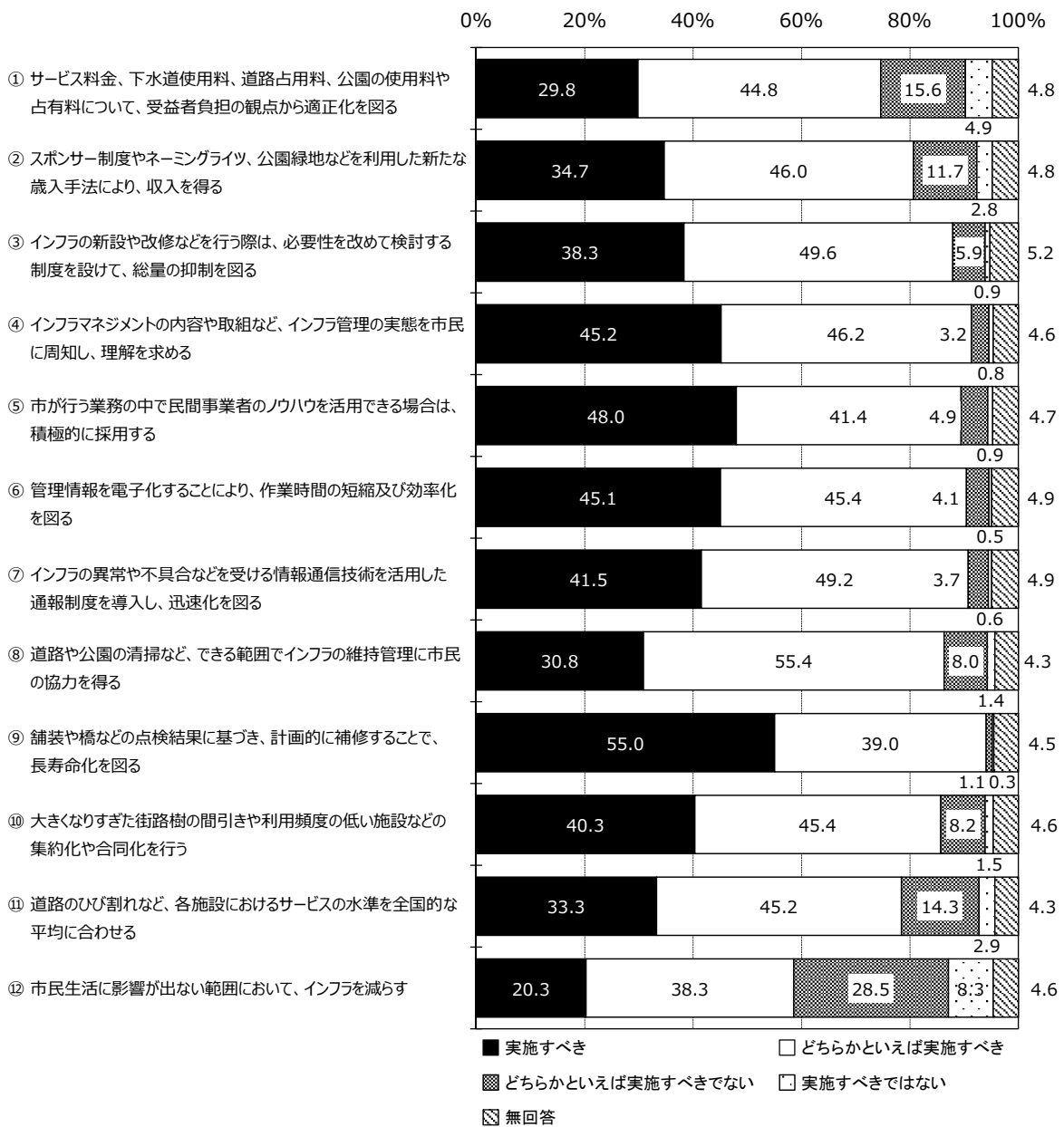


図 52 「府中市インフラマネジメント計画（2018年度）」で示している施策をどう思うか

**第 51 回府中市市政世論調査（概要版）**

令和元年 9 月

**発行：府中市政策総務部広報課**

東京都府中市宮西町二丁目 24 番地

Tel 042-366-1711

**実施：株式会社 T D S**

東京都府中市晴見町二丁目 24 番地の 1

Tel 042-352-3330